

純正ミラー交換タイプ/ドライブレコーダー機能付き

# デジタルルームミラー 【取扱説明書】

MDR-C003A2/MDR-C003B2

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

なお、お読みになった後も大切に保管してください。



フロントカメラ



MDR-C003A2  
(車内・車外リアカメラ)



MDR-C003B2  
(車内リアカメラ)

**MAXWIN**

## ご 注 意

- 電源ONの状態ではmicroSDカードの抜き差しを行わないでください。
- 必ず1か月に一度、本機でmicroSDカードのフォーマットを行ってください。

### ■もしも事故に合われた場合のご注意

---

1. 事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず録画ボタンを押して録画を停止してください。
2. エンジンを（電源を）OFFにしてmicroSDカードを取り外して安全な場所に保管してください。

## お 知 ら せ

本書で使用している画像は開発中のイメージ画像の為、  
実際の製品とは異なる場合がございます。  
記載内容に不備がある場合は、以下のURLに  
新しい取扱説明書が公開されている場合がございます。

**取扱説明書の最新バージョンは  
以下のURLからご確認いただけます。**

※取扱説明書のダウンロードファイルはPDF形式になります。

---

<https://maxwin.jp/download/108555/>

---



# 目次

■使用上のご注意	1
■安全上のご注意	4
■お手入れについて	6
■付属品の確認	7
■取付位置の確認	8
■各部の名称 / 取付時のご注意	9
■取付作業の前に	10
■取り付け前の準備	11
■取付ブラケットの取付	12
■デジタルルームミラー本体の取付	13
■電源ケーブルの取付	14
■フロントカメラを取り付ける	15
■リアカメラを取り付ける (MDR-C003A2)	16
■リアカメラを取り付ける (MDR-C003B2)	18
■リアカメラ中継ケーブルの引き回し例	19
■取付完了後の確認	20
■電源のON/OFF	21
■microSDカードの挿入・取り出し	22
■ディスプレイ表示	23
●操作メニューアイコン	23
●カメラ映像表示画面	24
●表示カメラ切替	25
●カメラ映像の表示エリア調整:上下	26
●カメラ映像の表示エリア調整:拡大縮小(リアカメラのみ)	27
●カメラ映像表示画面のON/OFF	28
●スクリーンセーバー画面	29
●駐車アシスト画面	30

# 目次

■録画モード	31
●常時録画モード	31
●手動記録	32
●駐車監視モード:タイムラプス	33
■各種設定	34
●設定手順	34
●microSDカードを初期化する	35
●各種設定方法	36
■再生する	38
●本機で再生する	38
●パソコンで再生する	40
■製品仕様	42
■よくある質問	43
■ファームウェアについて	44
■商品保証書	45



## 使用上のご注意

**本機についての注意事項です。必ずお読みください。**

- あらかじめ死角範囲を確認してください。リアカメラには死角があります。また通常のルームミラーとは後方の見え方が異なります。システムを過信せず、安全運転を心がけてください。
- 運転前は、必ずミラー状態で、ドライビングポジションを取り、車両後方が見えるようにミラー本体の位置合わせを行ってください。
- ミラーとカメラの取付位置の違いにより、目が疲れたり、対象物の大きさが異なって見える場合があります。
- 外部環境の乱反射により画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 夜間や暗い場所、照明の下などでは、モニターの映像と実際の色味が異なることがあります。
- 映像がはっきり視認できないときは、ミラーとしてお使いください。
- サンルーフ装着車の場合、サンルーフから日光がミラーに当たり見づらいつきはシェードを閉めるか、ミラーとしてお使いください。
- LED光源を使用した照明が映ったときは、映像がちらつく場合があります。
- フロントカメラ映像を表示したまま運転しないでください。
- 本機は常時記録型の映像を記録する装置です。ロックファイル(衝撃検知)も記録できますが、すべての状況において映像が記録できることを保証したものではありません。

※以下の場合などは、映像の記録ができないことがあります。

1. 本機にmicroSDカードを挿入していない場合
  2. 本機からmicroSDカードを抜いた場合
  3. 本機の仕様に適合するmicroSDカード以外を使用した場合
  4. 記録した古い映像が、新しい記録によって消されて(上書きされて)しまった場合
  5. 大きな事故や水没などで本機及びmicroSDカードが損傷を受けた場合
  6. 大きな事故の場合などでバッテリーと本機との電源コードが断線した場合
  7. 低速で衝突、または、相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
  8. 自車両、相手車両の衝突緩和箇所に衝突した場合
- ※7.8.バンパー・ドア・タイヤボックスなどで衝撃が緩和されるので、見た目より衝撃が発生しないことがあります。エアバックが開かないような低衝撃の事故は検知できない場合があります。
9. 自車両に対して相手車両が軽い、または、相手が人や自転車の場合
  10. 相手車両の側面をこするように衝突した場合
- ※9.10.相手車両が軽かったり(自動車対人、自動車対自転車など)、相手車両が回転すると、衝突時の衝撃が受け流され、自車両への反発の衝撃が小さくなります。
11. 雪道や凍結路で急ブレーキをかけた場合
- ※雪道や凍結路では、タイヤと路面との摩擦が少なく、小さい衝撃でもスリップしますので、Gセンサーでの検知が困難になります。
12. 衝撃が弱く、本機が検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合
  13. 本機の本体が固定されていないなど、本機の取付状態に問題がある場合

## 使用上のご注意

- 本機は録画状態で使用することにより映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 本機は事故の検証に役立つことも目的の1つとした製品ですが、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合には弊社は一切責任を負いません。
- 故障や本体の使用によって生じた損害、及び記録された映像やデータの損害、破損による損害は、法律上の請求の原因の種類を問わずいかなる場合においても本製品の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失又はその他の金銭的損害を含む)に関して、弊社は一切の責任を負わないものとします。
- 録画された画像は事故の証拠として効力を保証するものではありません。
- 録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- 運転者は走行中にモニターを注視したり操作しないでください。前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。操作する場合は安全を確保したうえで行うようにしてください。
- 本機が起動中にmicroSDカードを抜かないでください。  
microSDカードが破損し、映像を記録できなくなるおそれがあります。microSDカードの破損で映像が記録できない件については、弊社は一切責任を負いません。
- 本機は常時記録型の映像記録装置です。microSDカードの記録がいっぱいになると古い映像から順に消して新しい映像を記録(上書き)します。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにし、microSDカードを抜いてパソコンに保存するなどの対応をお願いいたします。
- 車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合には、駐車録画は動作しないことがあります。
- 記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクにコピーしておくなどの対応をお願いいたします。
- 本機以外で記録した映像を見るためには、パソコンおよびSDカードリーダーライターが必要です。必要な機器は、別途ご準備ください。
- LED式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件について弊社は一切責任を負いません。

## 使用上のご注意

### 【microSDカードについてのご注意】

下記仕様のmicroSDカードをご利用ください。

記録媒体:microSDHC／microSDXCカード

容量:16GB～128GB

スピードクラス:Class10

バスインターフェーススピード:UHS-I, UHS-II

※上記仕様を満たしていてもご利用頂けない場合があります。あらかじめご了承ください。

※容量が256GB以上のmicroSDXCメモリーカードは、本機では使用できません。

※本書では、上記のメモリーカードを「microSDカード」と表記しています。

- 記録媒体の仕様をご確認の上、必要に応じてご準備ください。仕様に合致していても動作しない可能性がありますのでご了承ください。
- 安心してご利用いただくために、microSDカードは1カ月に1回はフォーマットしてご利用ください。microSDカードは消耗品です。寿命がありますので定期的な交換をお勧めします。
- 電源をONにした状態や駐車監視モード中にmicroSDカードの抜挿しを行わないでください。microSDカードの破損や録画データの破損の原因となります。
- microSDカードをフォーマットする際は必ず本機で行ってください。
- パソコンによるmicroSDカードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。
- microSDカードは指定した方向へ正しく入れてください。無理に誤った方向に入れた場合、microSDカードや本機の故障の原因となります。

### 【駐車監視についてのご注意】

- 駐車監視モードは車両の常時電源を使用しているため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的に車両バッテリーの点検を行なってください。
- 次の方は車両バッテリー上がりの原因になりますのでご使用を控えてください。  
(毎日乗車しない・1日の走行が1時間以下・車両バッテリーを1年以上使用している)
- 駐車監視機能の使用後は車両バッテリー電圧が低下した状態のため、必ずエンジンを始動し、車両バッテリーの充電を行ってください。車両バッテリー上がりの原因となります。
- 車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 長時間録画を行う場合、microSDカードの容量や本体の設定により、録画データが上書きされる場合がありますのでご注意ください。

## 安全上のご注意

この取扱説明書及び製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよくご確認いただき、本文をお読みください。



### 警告

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、傷害または家屋、家財など損害が想定される内容を示しています。

### 警告

- **本機はDC12V/24Vマイナスアース車専用です。**  
DC12V/24V車以外では使用しないでください。
- **本機を分解したり、改造しないでください。**  
事故、火災、感電の原因となります。
- **電源コードの被膜を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。**  
電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- **音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。**  
事故、火災、感電の原因となります。
- **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください。**  
規定容量を超えるヒューズを使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- **万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げになった販売店に相談してください。**  
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- **運転者は、走行中にmicroSDカードの抜き差しやスイッチの操作をしないでください。**  
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **本機が衝撃を検知するかを確かめるために故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。**
- **機器内部に水や異物を入れしないでください。**  
発煙、発火、感電の原因となります。
- **雷が鳴り出したら、本機に触れないでください。**  
落雷により、感電の危険性があります。
- **本機を使用するために、禁止された場所に駐停車しないでください。**
- **microSDカード挿入口に異物を入れしないでください。**  
火災や感電の原因となります。

## 安全上のご注意



- 本機の取り付け時は、安全のため必ず専門の業者に依頼してください。取り付けには専門技術が必要です。
- 車検証シールを貼り替えの際は、カメラの撮影範囲内に車検証シールを貼らないようにしてください。
- 本機を車載用以外には使用しないでください。  
感電や怪我の原因となることがあります。
- 本機は、運転時の状況を記録することが目的です。その他の目的では、使用しないでください。
- 本機に、強い力やショックを与えることはしないでください。  
火災、故障のおそれがあります。
- 夏場などに長時間、直射日光が当たった場合は、素手で触らないでください。  
直射日光が当たった場合などは、高温になり、火傷をする可能性があります。
- クリーナーなどのスプレーや水分などを本機にかけないでください。  
両面テープが剥がれカメラが脱落するおそれがあります。
- 極端な高温や低温でのご使用は、誤動作や故障の原因となります。  
特に夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどをして温度を下げてからご使用ください。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人の障害物は、実際の位置や距離と異なって見えることがあります。
- 本機を強くたたく、ものをぶつけるなどの強い衝撃をあたえないでください。  
故障や破損の原因となります。
- 本機への直火やドライヤーなどの急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因となります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象※が発生したり、その光源の中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。  
※ブルーミング現象:強い光源の周辺や、非常にコントラストの強いシーンを撮影した場合に撮像素子が強い光を受け、飽和して周囲の画素にあふれ出す現象です。



## お手入れについて

### ■デジタルルームミラー本体

ミラー表面が汚れていると映像が見えにくくなる場合があります。あらかじめ乾いた柔らかい布などで汚れをそっと拭き取ってください。

※本機をアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなど揮発性の薬品類で拭かないでください。変形や変質、破損の原因となります。

### ■カメラ

カメラのレンズが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴やホコリなどが付着した時は水で湿らせた柔らかい布などで軽くふいてください。

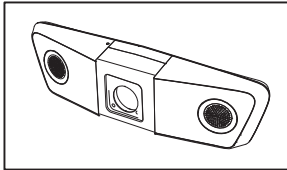
車内設置の場合、清掃する際はリアウインドウガラスの内側も同様に清掃してください。

※磨き砂などが配合された洗剤で拭かないでください。キズの原因となります。

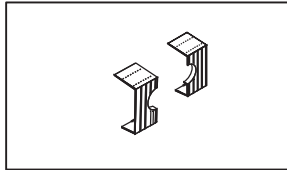
※乾いた布で強く拭かないでください。キズの原因となります。

# 付属品の確認

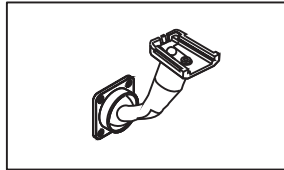
## ■構成部品



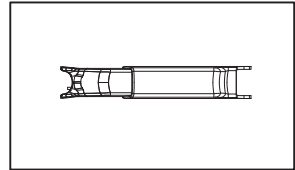
デジタルルームミラー  
本体



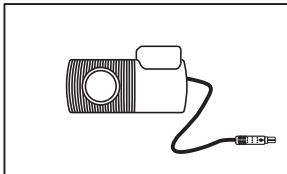
本体カバー



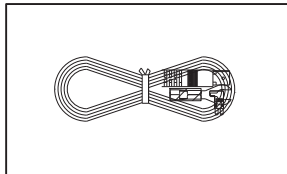
取付ブラケット



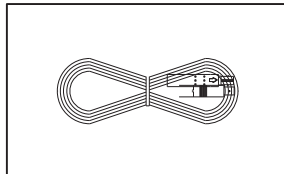
ハーネスカバー



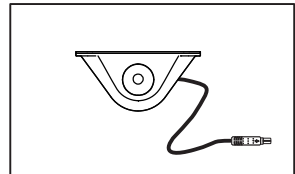
フロントカメラ



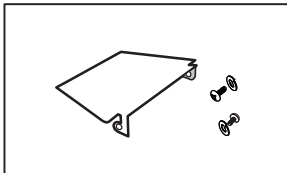
電源ケーブル



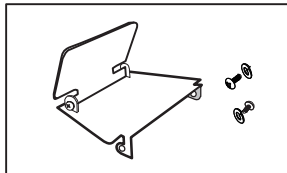
リアカメラ  
中継ケーブル



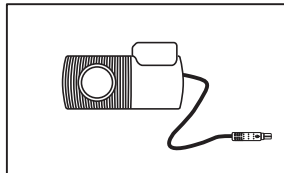
リアカメラ  
※MDR-C003A2付属



カメラブラケットA  
※MDR-C003A2付属



カメラブラケットB  
※MDR-C003A2付属

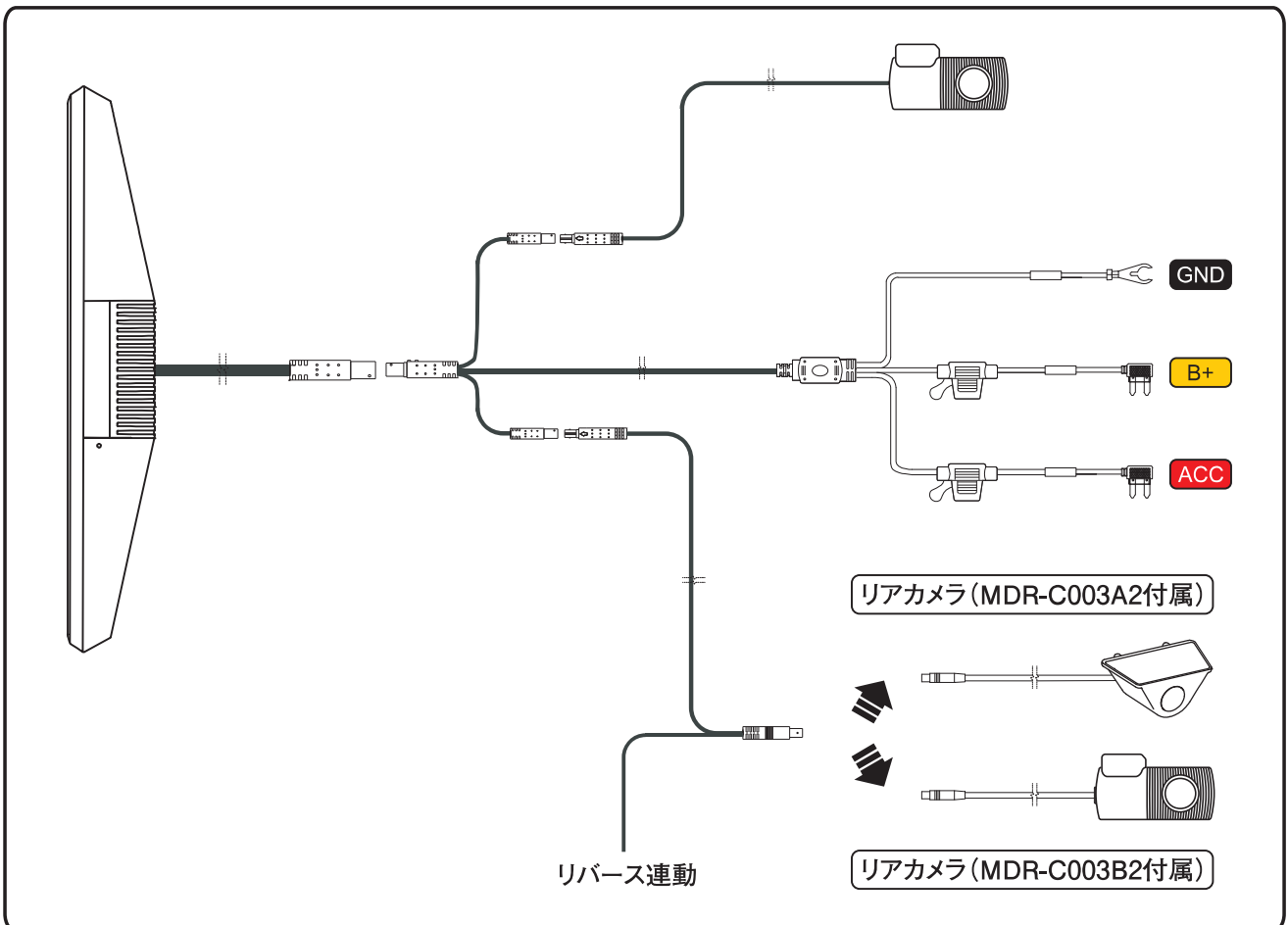


リアカメラ  
※MDR-C003B2付属



取扱説明書(本書)

## ■配線図



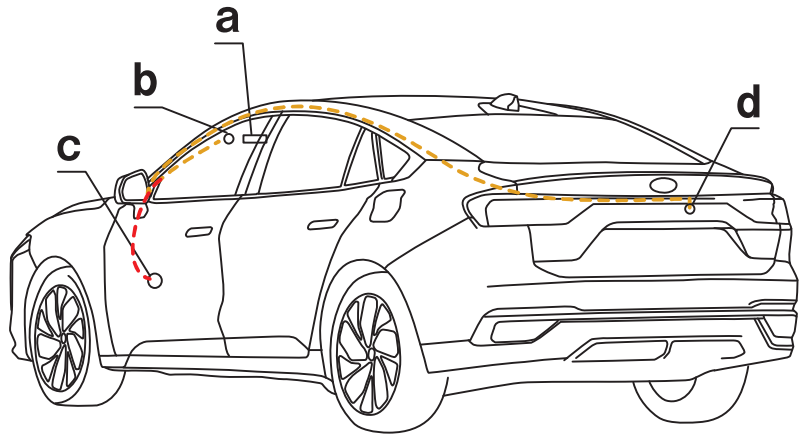
## 取付位置の確認

本製品の取付位置はお車により異なります。

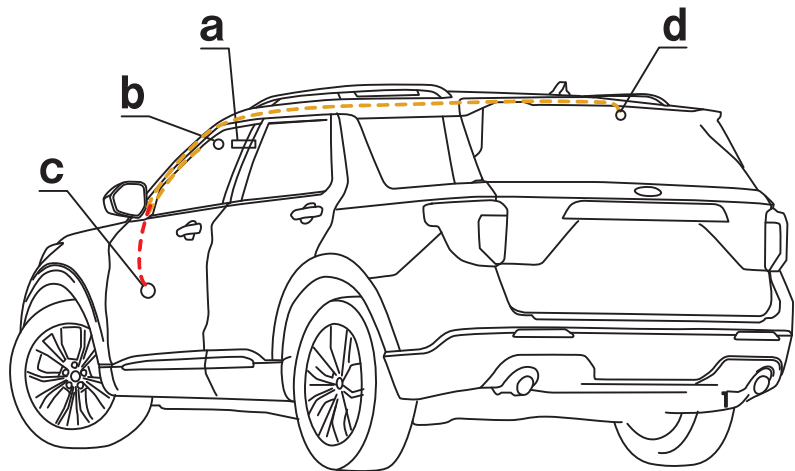
また、リアカメラの仕様によって取り付け方や取付位置が異なります。

作業を始める前には、お使いのお車の取付位置を確認してください。

MDR-C003A2の取付図

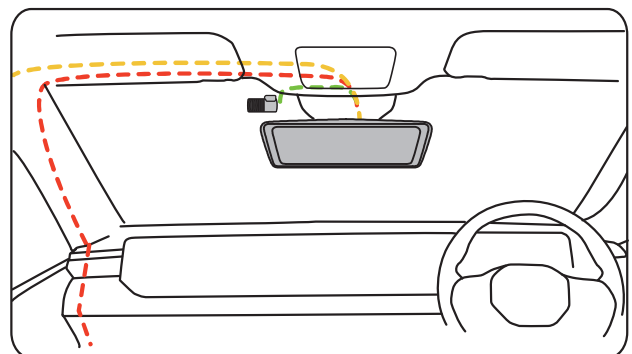
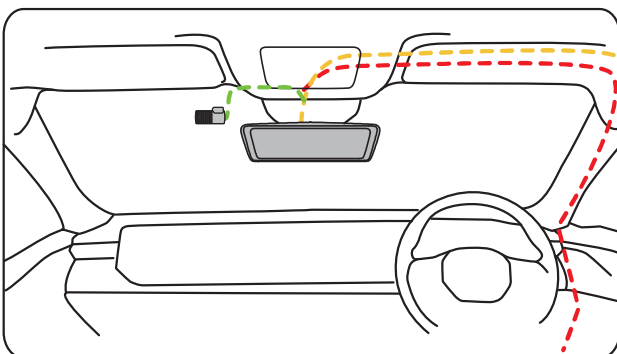


MDR-C003B2の取付図



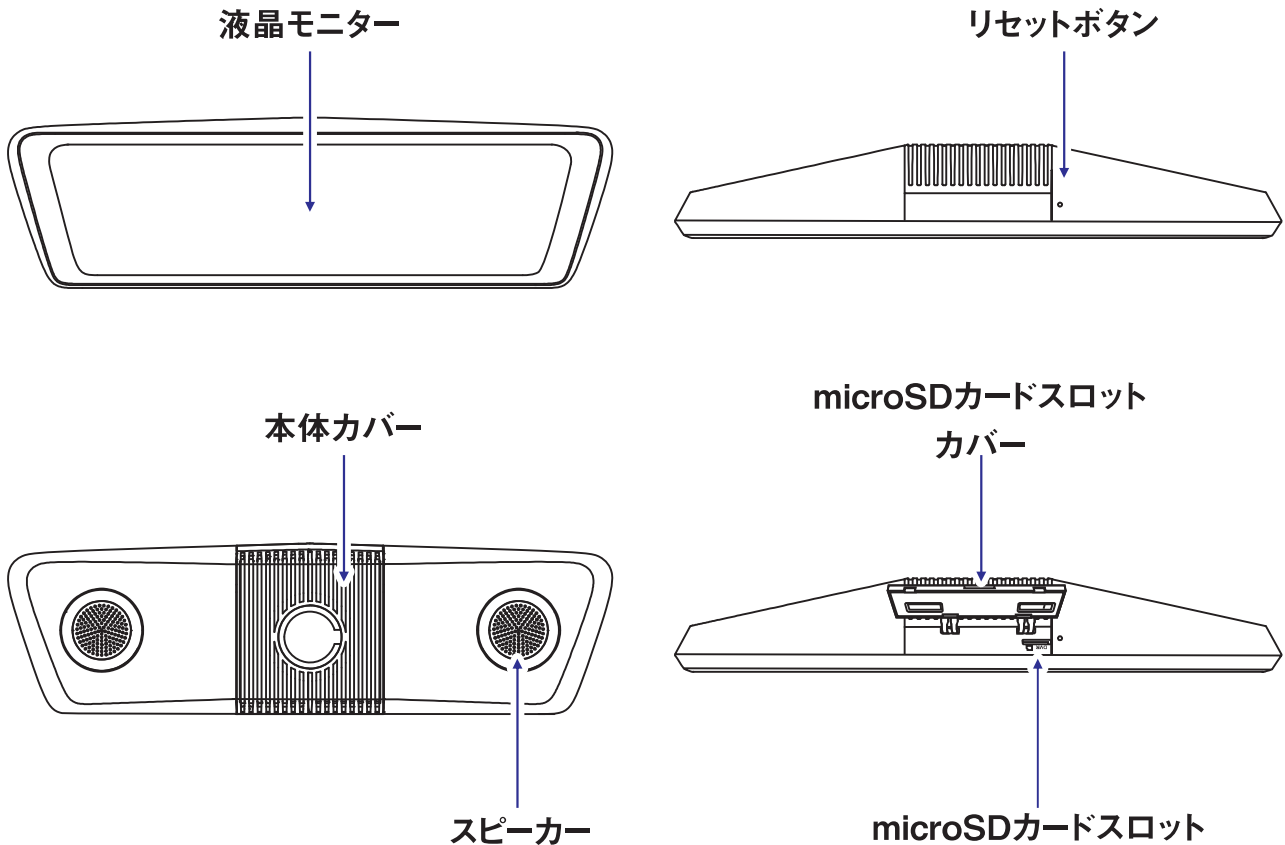
- a. 純正ルームミラーを取り外し、デジタルルームミラー本体を取り付けます。
- b. フロントガラスの内側に、フロントカメラを取り付けます。
- c. 電源ケーブルの各配線は車両側配線(ヒューズ電源)に接続します。※
- d. MDR-C003A2の場合はリアカメラをナンバープレート上部に取り付けます。  
MDR-C003B2の場合はリアカメラをリアガラスの内側に取り付けます。

※ヒューズボックス位置(運転席側面/助手席側面)によって、フロントピラー部の配線方法が異なります。





## 各部の名称



## 取付時のご注意

- 安全な場所に駐車して作業をしてください。
- 運転操作や車の可動部に干渉しないように取り付けてください。
- ネジやシートレールなどの可動部にケーブルを挟み込まないようにしてください。  
車体に穴をあける時は、パイプ、タンク、電気配線を傷つけないように注意してください。
- 両面テープを使用して固定する時はアルコールクリーナー等で取付面に付着している油分などを取り除いてください。
- 温度が低い時は、接着力を上げるためドライヤー等で暖めてから作業を行ってください。
- 両面テープは貼り直しをしないでください。極度に接着力が低下します。
- 先に仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから取付を行ってください。
- 取付後24時間以内はカメラに無理な力をかけないでください。
- 本製品を分解、改造しないでください。保証対象外になります。
- 本製品を動作するには定格DC12V/24Vの電圧が必要です。  
定格外電圧では動作しません。  
複数のモニターや電化製品を多数取り付ける場合は電圧降下する可能性があります。  
その際は安定した電源の対策を施してから取付してください。
- 接続した線は必ず絶縁をしてください。ボディと接触するとショートします。
- リアカメラを取付ける位置は「道路運送車両の保安基準第18条」に適合させる必要がありますので、ご注意ください。

# 取付作業の前に

## ■作業の前に

- 異常発生時やお問い合わせはまず、購入された販売店、またはサポートにご相談ください。  
お客様による修理/分解は、絶対おやめください。
- 取り付ける前に構成部品をご確認ください。
- 取り付けには、内張り外し道具、養生テープ、布、ドライバー（プラス、マイナス、星形T20）、10mmレンチ、電動ドリル（8.5mm）、ニッパー、ペンチ、カッターナイフ、結束バンド、通線ワイヤー、マスキングテープ、脱脂剤、はさみ、センターポンチまたはマジックペン、保護メガネ、保護手袋が必要です。
- ネジやボルト、ナットの取り付けには、サイズの合う工具をお使いください。

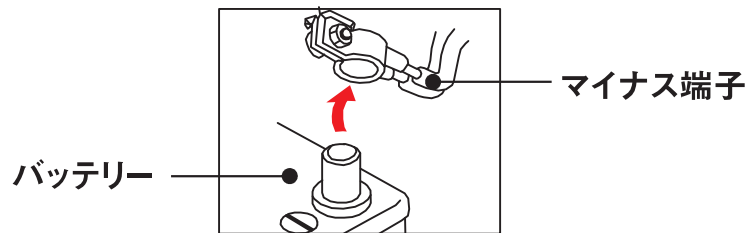
## ■作業の進め方

- 1.同梱物を確認する
- 2.本取付前に動作確認する
- 3.デジタルルームミラー本体・フロントカメラ・リアカメラを取り付ける
- 4.デジタルルームミラー本体コードと各ケーブルを接続する

## ■本体の動作確認

本取付前、製品が正しく動作するか仮配線して確認してください。

- 1.バッテリーのマイナス端子を外す。



### マイナス端子を外す際の注意

- 純正カーナビの暗証番号の再入力が必要です。
- カーナビの設定がリセットされます。
- 時計がリセットされます。
- その他、電子機器の再設定が必要です。

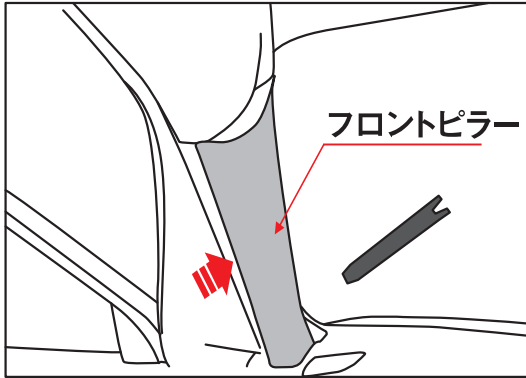
- 2.デジタルルームミラー本体のコードに電源ケーブル、フロントカメラ、リアカメラを接続する。
- 3.電源ケーブルのACC、B+をヒューズボックスに接続し、マイナス端子を車体のアースに接続する。
- 4.microSDカードを装着する。※1、※2
- 5.動作確認する（フロント・リアカメラ録画）
- 6.電源OFFにする。バッテリーのマイナス端子を外し、本取付を行う。

※1.microSDはClass10以上、128GBまでのカードをご利用ください。

※2.microSDカードは本体でフォーマットを行ってください。

## 取り付け前の準備

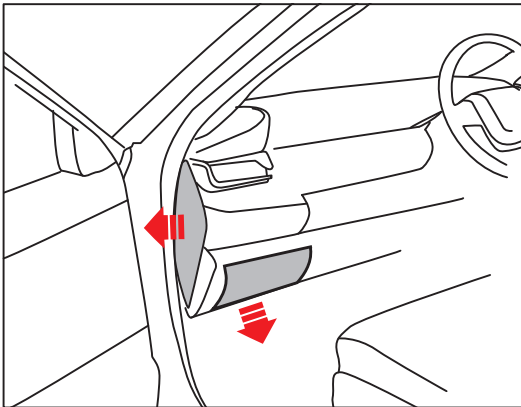
1. 取付概要図を参照して、配線側のフロントピラーを取り外します。



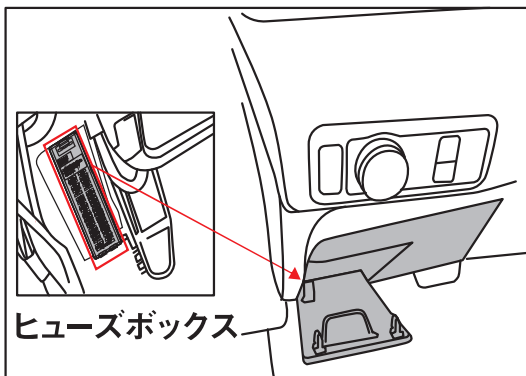
### ⚠ 注意

エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。  
また、エアバッグの内蔵されている部品などを外さないでください。  
必要な場合には、必ずカーディーラーの指示を受けてください。

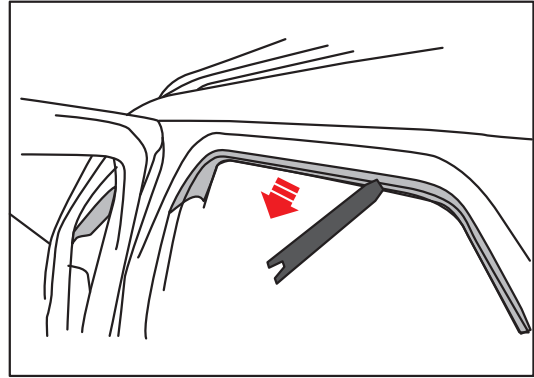
2. 取付図を参照して、車に応じて配線側のアンダーカバーを取り外します。



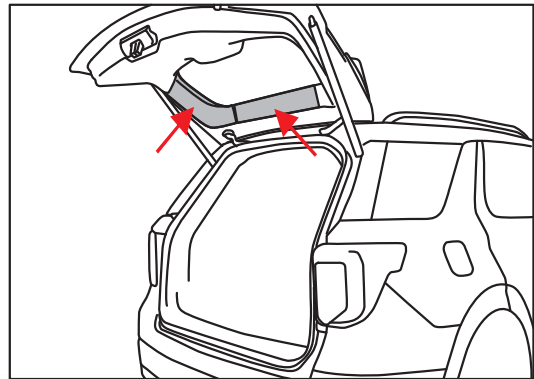
3. 車の取扱説明書等でヒューズボックス、アース位置やヒューズの詳細を確認してください。



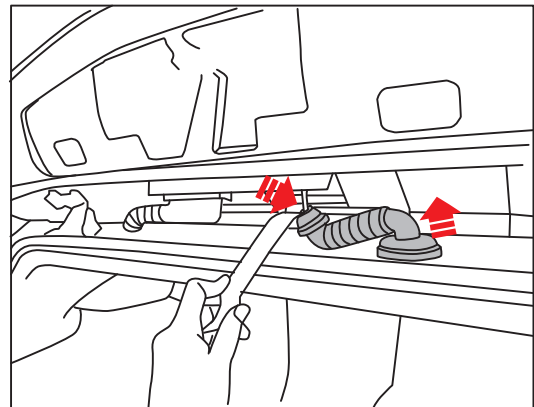
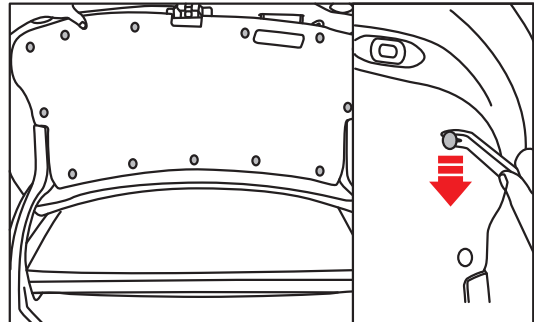
4. ドアを開け、ウェザーストリップゴムを引っ張り、配線しやすいように外します。



5. 取付概要図を参照して、車に応じてバックドアアロアトリムを取り外します。

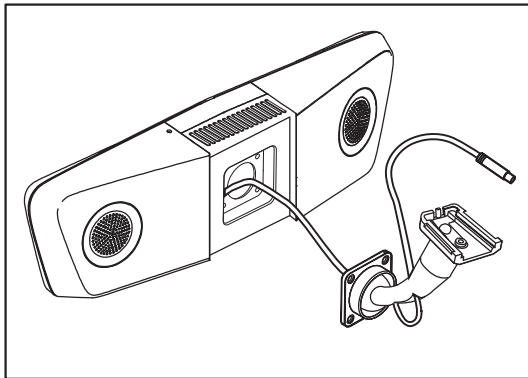


6. 取付図を参照して、テールゲートライニングや車両グロメット(バックドアがある車)などを取り外します。

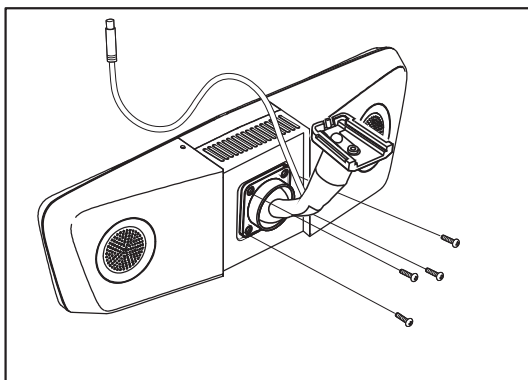


## 取付ブラケットの取付

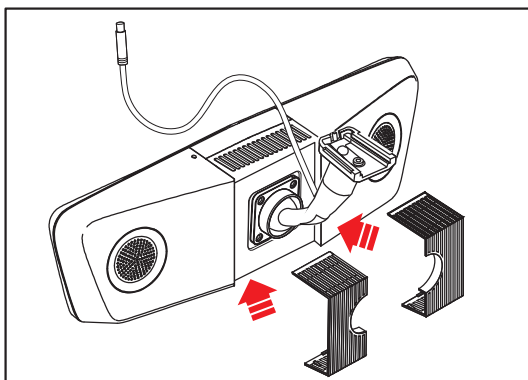
1. デジタルルームミラー本体のコードを取付ブラケットに通します。(★1)



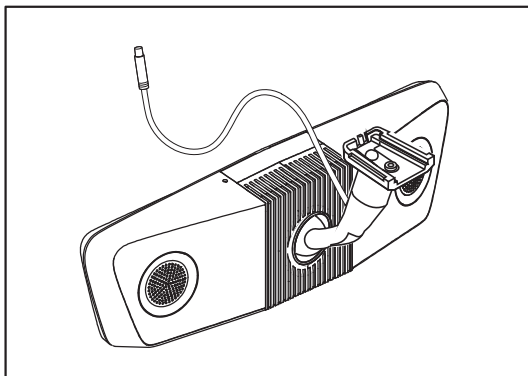
2. 取付ブラケットの台座部分をデジタルルームミラー本体に取り付け(★2)、台座用ネジでとめます。(4箇所)



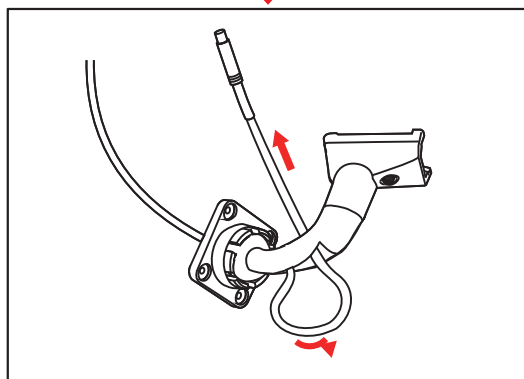
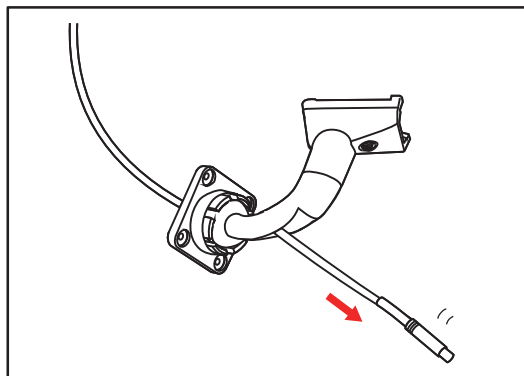
3. カバーを取り付けます。



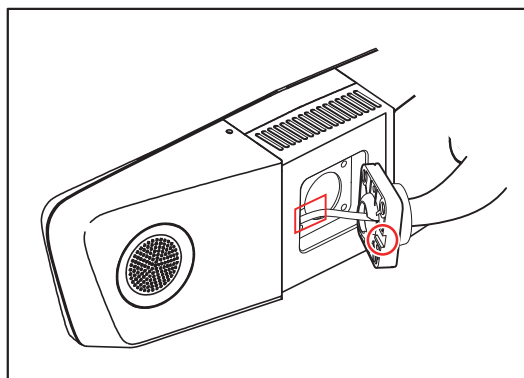
4. ブラケットの取り付けは以上で終了です。



(★1)ポイント:  
デジタルルームミラー本体のコードは取付ブラケットの途中で一度外に出してから通します。



(★2)ポイント:  
取付ブラケット台座の溝の向きを本体のコード接合部の向きに合わせて取り付けてください。

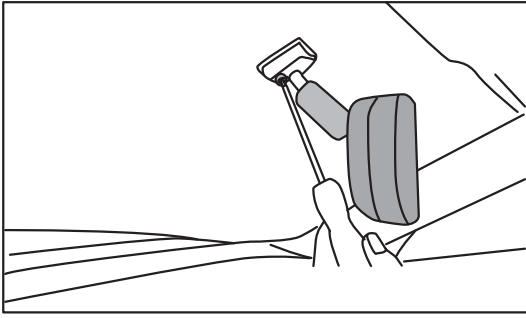


### ⚠ 注意

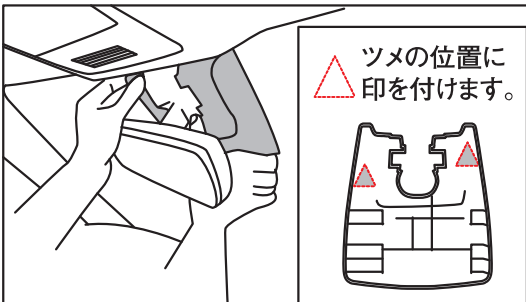
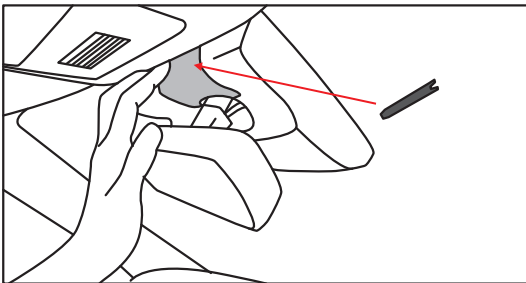
- 付属品以外のネジは使わないでください。
- ネジを締めすぎないようにご注意ください。
- ケーブル類を挟み込まないようにしてください。
- 必ず厚手の手袋など保護具を使用してください。

# デジタルルームミラー本体の取付

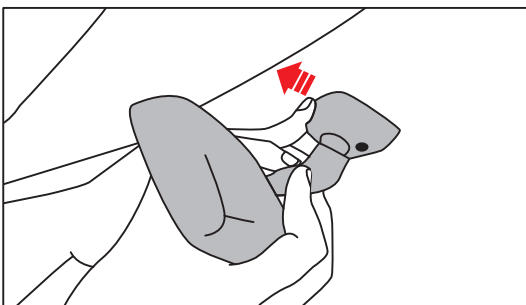
1. 純正ルームミラーがネジで固定されている場合は、市販のドライバー等でネジを外します。



※純正ルームミラーの根元が運転支援機能（自動ブレーキ）のセンサー部などの装備カバー内にある場合は、センサー部のカバーを取り外してください。

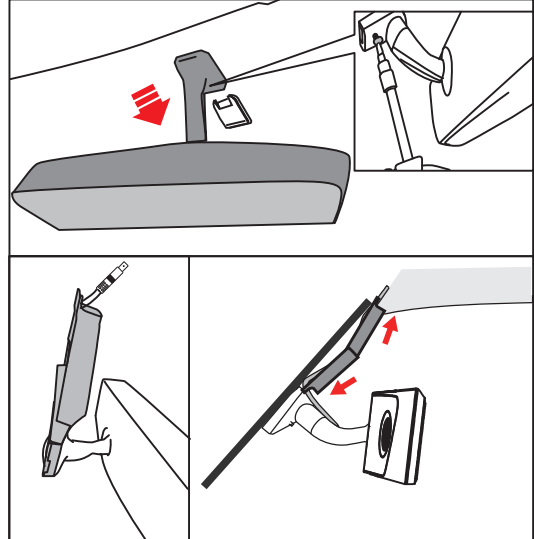


2. 純正ルームミラーを上(天井)方向にずらして取り外します。  
※ツメで固定されている場合は、ツメを下げながら外してください。

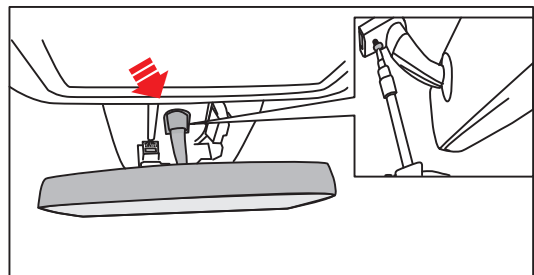


4. デジタルルームミラー本体をフロントガラスのベース部にスライドして取り付け、固定ネジで締め付けます。

※必要に応じてハーネスカバーを取り付けます。ルーフヘッドライニングと取付部までの距離を測定し、ハーネスカバーを切り取り使用します。

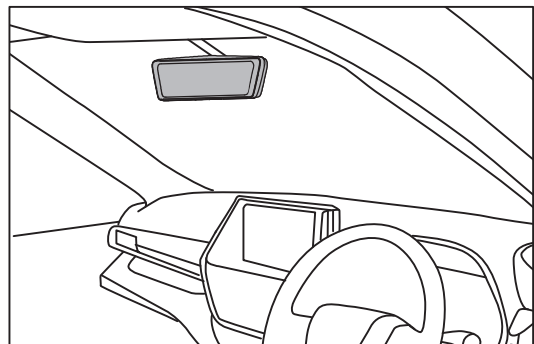


運転支援装備カバーが無い場合



運転支援装備カバーがある場合

5. デジタルルームミラー本体の取り付けは以上で終了です。

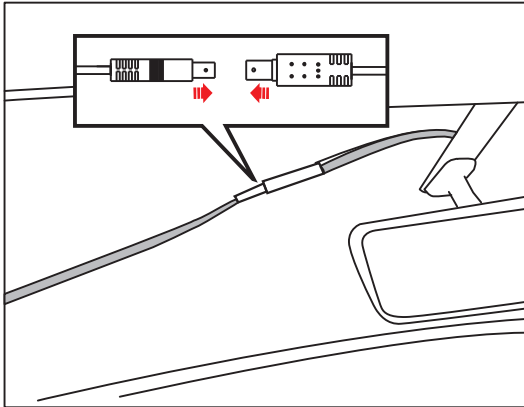


## ⚠ 注意

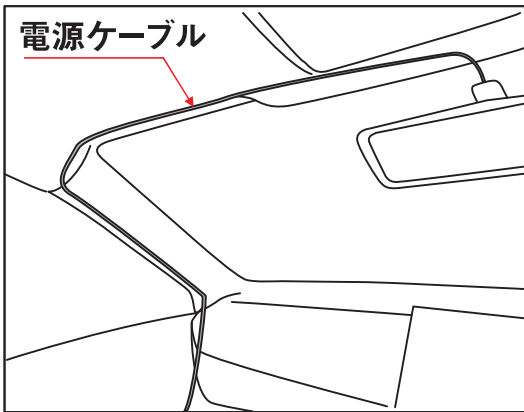
- 付属品以外のネジは使わないでください。
- ネジを締めすぎないようにご注意ください。
- 本機のミラーで後方が見えることを確認してください。正しく取り付けないと事故の原因となります。

# 電源ケーブルの取付

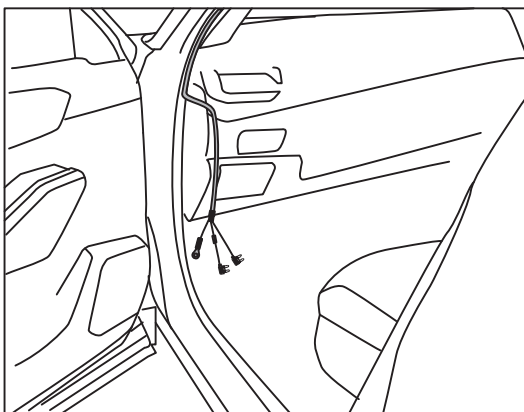
1. 本体のコードのコネクタを電源ケーブルのコネクタにカチッとロックがかかるまで挿入します。



2. 下図のように電源ケーブルをはルーライニング、フロントサイドピラーライニング内を通します。



3. 下図のように電源ケーブルをヒューズボックス側座席の足元まで引き回します。



## ⚠ 注意

- エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。

4. 電源ケーブルの各配線はヒューズボックス、または下記の車両側信号配線に接続します。

### ●GND(ボディーアース)線:

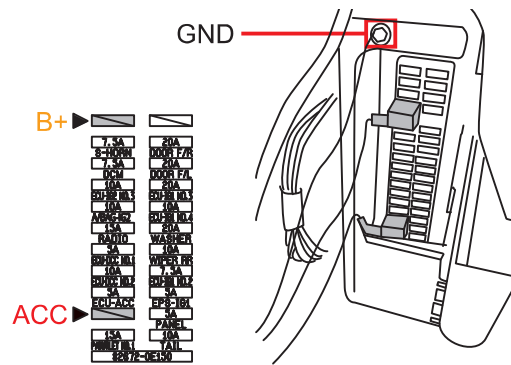
車両金属部分のボルト、ボディーアース配線などに接続します。

### ●ACC線:

シガーライター配線、オーディオ裏配線から取り出せます。

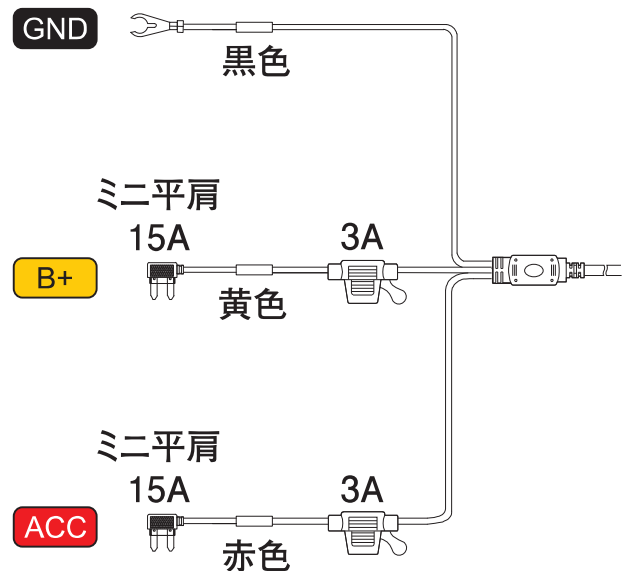
### ●B+線:

テスターで車のエンジンのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路を確認後、接続してください。



### アドバイス

GND端子の締付トルク目安  
約10±1kgf

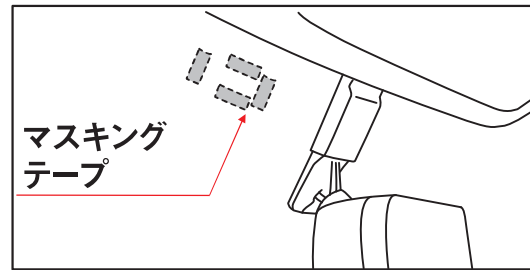
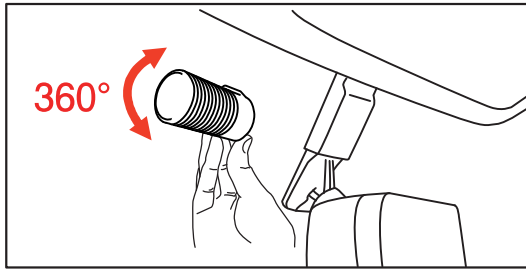




# フロントカメラを取り付ける

1. P.8取付図を参照して、フロントカメラの設置場所(★1)(★2)を決めます。

※本機のモニターを確認しながら、フロントの角度が地面に対して水平になる、かつ道路の水平線が画面の中央になるように角度の調整が出来る位置での取付を推奨します。



## ■推奨取付位置

- 道路の水平線が画面の中央になる位置
- ワイパーの可動範囲にカメラ部がかかる位置
- 前方および左右に対して水平方向を向く位置
- 接続ケーブルが無理なく引き回せる位置
- エアバッグや運転の妨げにならない位置
- 車検ステッカーと重ならない位置

### ⚠ 注意

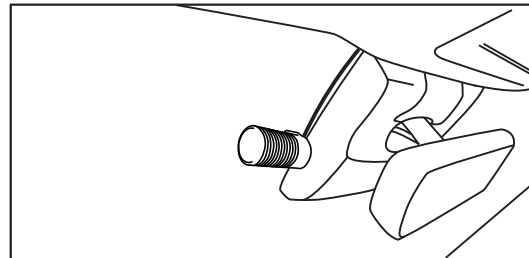
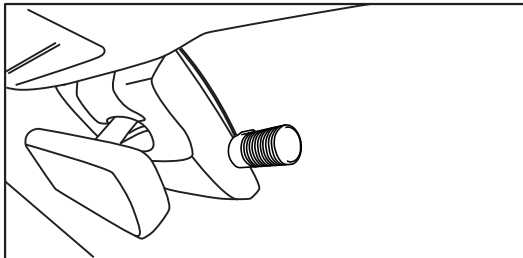
本製品は道路運送車両法・保安基準第29条のフロントガラス装着規制対象外です。但し、設置場所はフロントガラスの開口部上端から下方向に1/5以内の場所に限ります。装着後、運転の邪魔にならないか、ルームミラーの操作の妨げにならないか等、十分に確認してから使用してください。



### (★1)ポイント:

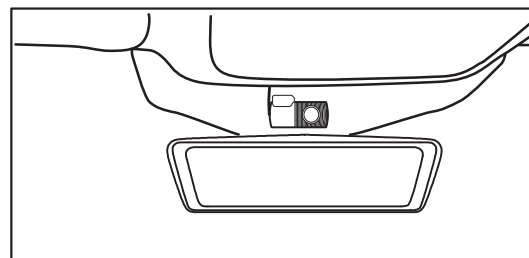
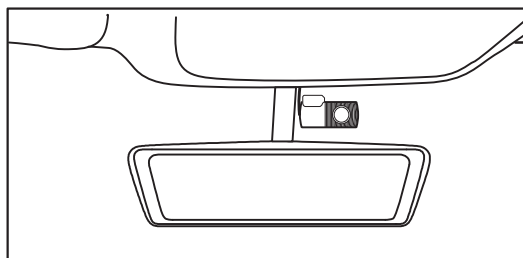
本機の設定によっては、カメラ映像を上下反転・左右反転することができます。

実際のお車の形状や法令に合わせ、カメラを上下(左右)逆向きに取り付けることができます。

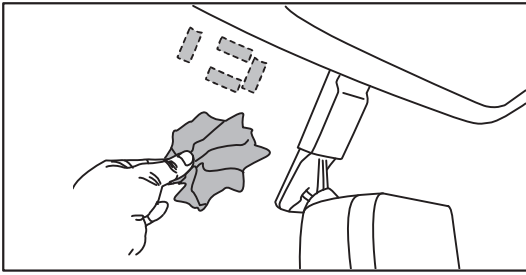


### (★2)ポイント:

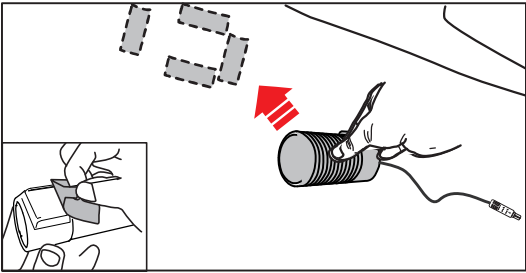
実際のお車の形状や用途に合わせ、フロントカメラの取り付け方向(回転方向)を変更できます。



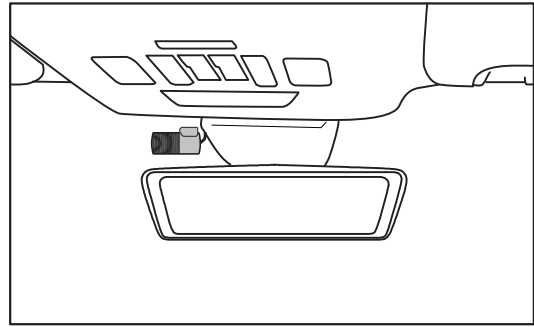
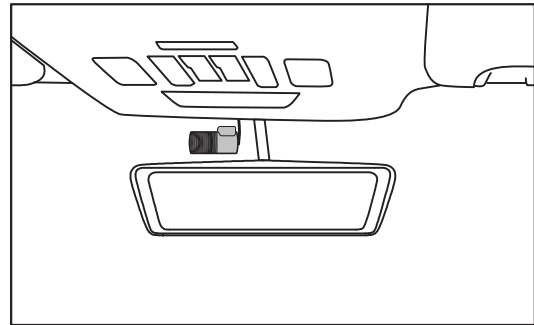
2. 貼付面の油分や汚れ、湿気をしっかりと除去します。



3. フロントカメラの両面テープの剥離紙を剥がし、貼付面にしっかりと貼り付けます。



4. フロントカメラの角度を調整します。  
フロントカメラの取り付けは以上で終了です。



## リアカメラを取り付ける (MDR-C003A2)

1. P.8取付図を参照して、リアカメラを取り付ける適正な位置を決めます。(★1)(★2)

※本機のモニターを確認しながら、リアカメラの角度が地面に対して水平になる、かつ道路の水平線が画面の中央になるように角度の調整が出来る位置での取付を推奨します。

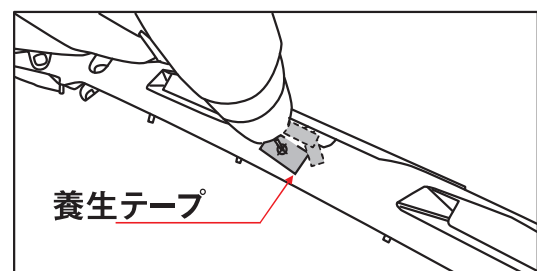
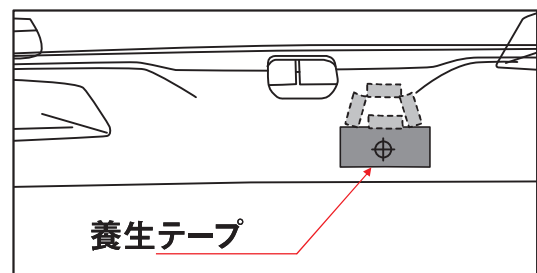
2. 必要に応じて、カメラコードの配線位置に配線穴を開けます。

※カメラ取付位置: マスキングテープでマーキングしてください。

※穴あけ位置: 養生テープ等のはがしやすいもので仮止めをしてから加工してください。

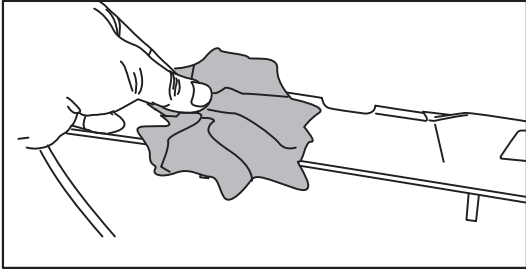
### ⚠ 注意

- 車載カメラ等の外装品を取り付ける際、国土交通省公布の「外装の技術基準」に準拠した取り付けが必要となります。取付位置に一部制限が発生する場合がありますので、ご注意ください。
- 取り付けや配線の作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。あらかじめ仮接続・仮止めして、取り付けの位置を決めてください。貼りなおさないでください。
- 必要な範囲が見える取り付け位置を確認してください。
- カメラが車体やリヤワイパーにあたらないように取り付けてください。
- カメラは車幅に対してできるだけ中央付近に取り付けください。
- 取付ネジは時々点検し、緩みがある場合は増し締めしてください。

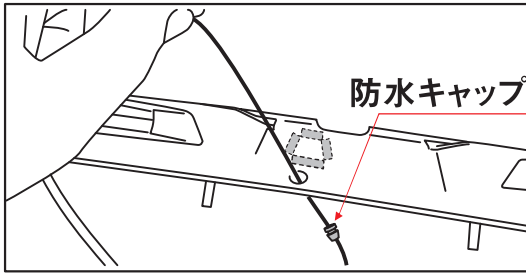




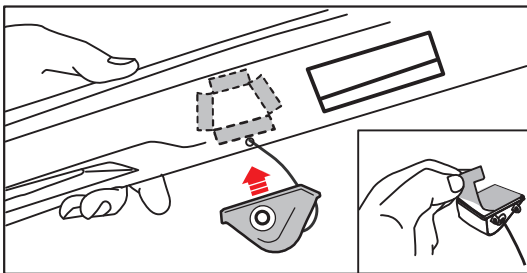
3. 養生テープを剥がし、貼付面の油分や汚れ、湿気をしっかりと除去します。



4. リアカメラコードを配線穴にゆっくり通してから、市販の防水キャップや防水テープ等で水が入らないように処理をしてください。



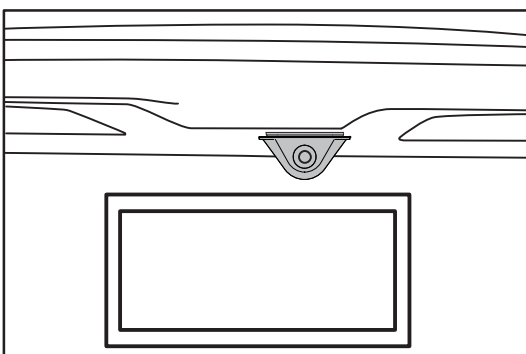
5. リアカメラの両面テープの剥離紙を剥がし、貼付面にしっかりと貼り付けます。



### ⚠ 注意

- 気温が低いとき(20℃以下)は、ドライヤーなどで接着面を温めてください。
- 接着面が完全に乾いた状態で作業を行ってください。接着不良などによるはがれの原因となります。
- 取り付けたあと、24時間以内は雨に濡らしたり、水をかけたり、引っ張ったり、無理な力を加えないでください。

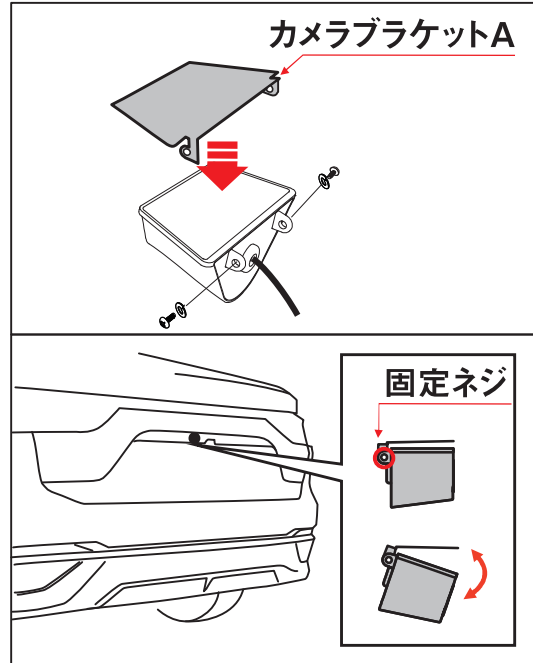
6. リアカメラの取り付けは以上で終了です。



### (★1)ポイント:

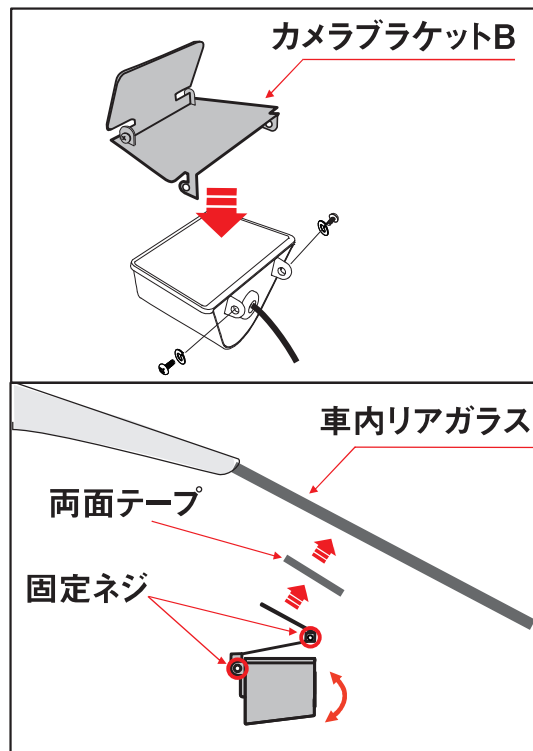
カメラの角度を調整する必要がある場合は、付属のカメラブラケットAを使用して取り付けてください。

必要に応じて市販の+ドライバーでカメラブラケットの固定ネジを緩めて角度を調整します。角度調整後、固定ネジをしっかりと締め付けます。



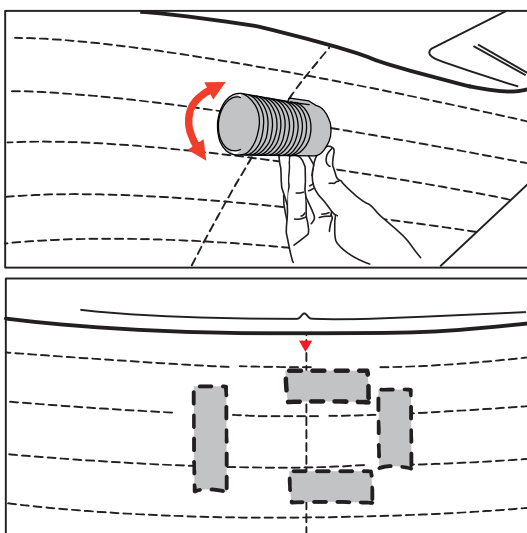
### (★2)ポイント:

カメラを車内リアガラスに取り付けする場合は、付属のカメラブラケットBを使用して取り付けてください。

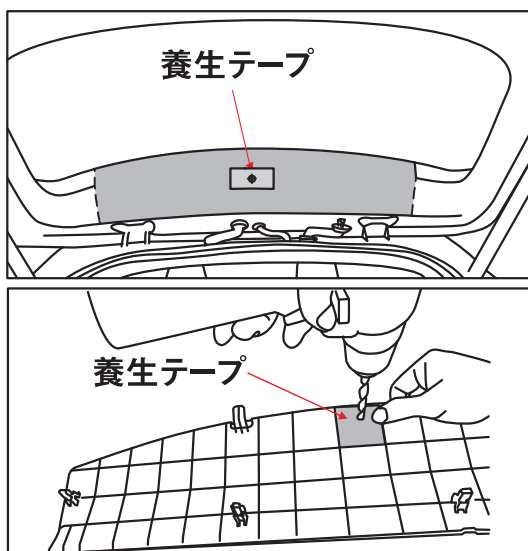


## リアカメラを取り付ける (MDR-C003B2)

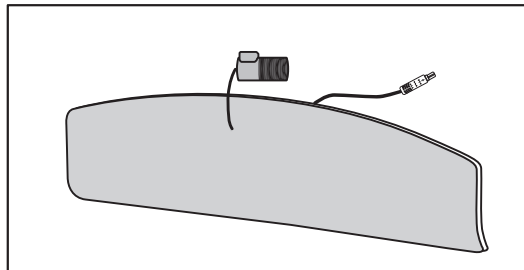
1. P.8取付図を参照して、リアカメラを取り付ける適正な位置を決めます。  
※本機のモニターを確認しながら、リアカメラの角度が地面に対して水平になる、かつ道路の水平線が画面の中央になるように角度の調整が出来る位置に取り付けてください。  
※レンズ部分が熱線と重ならない位置に取り付けてください。  
※カメラ部分がワイパーのふき取り範囲内に入る位置へ取り付けてください。  
※リアカメラは防水仕様ではありません。車内へ取り付けてください。  
※フィルムの上に取り付けをしないでください。



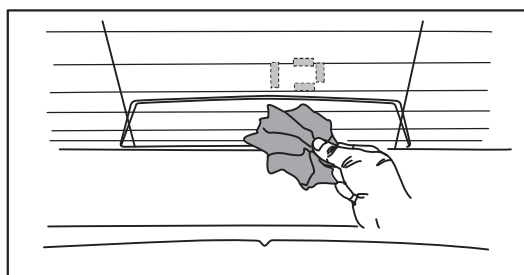
2. 必要に応じて、カメラコードの配線位置に配線穴を開けます。  
※穴あけ位置：養生テープ等のはがしやすいもので仮止めをしてから加工してください。



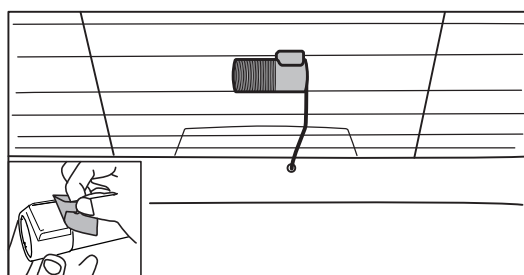
3. リアカメラコードを配線穴にゆっくり通します。



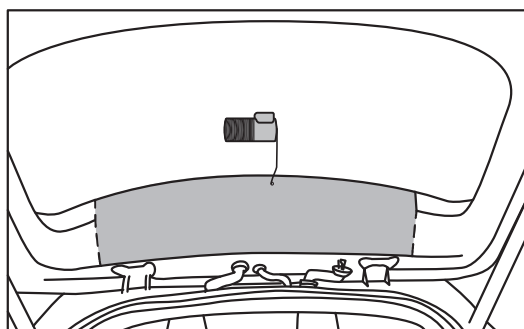
4. 貼付面の汚れを洗浄し、油脂等を脱脂剤できれいに拭き取ってください。



5. リアカメラの両面テープの剥離紙を剥がし、車内リアガラスにしっかりと貼り付けます。



6. リアカメラの角度を調整します。  
リアカメラの取り付けは以上で終了です。

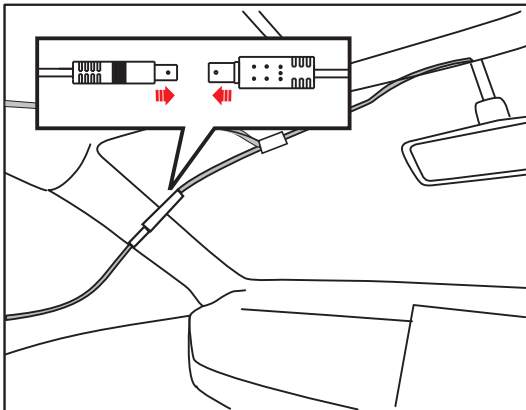


### ⚠ 注意

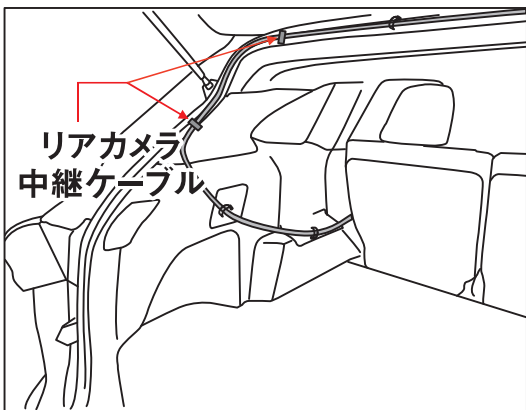
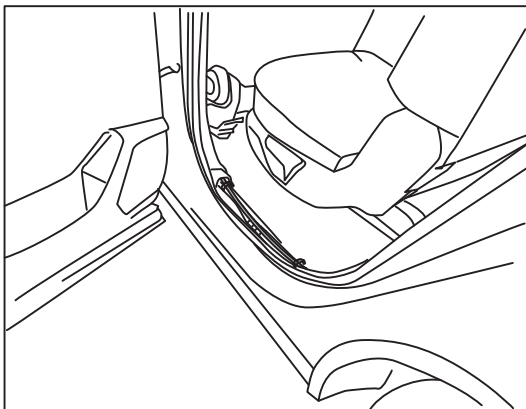
- 気温が低いとき(20℃以下)は、ドライヤーなどで接着面を温めてください。
- 接着面が完全に乾いた状態で作業を行ってください。接着不良などによるはがれの原因となります。
- 取り付けたあと、24時間以内は雨に濡らしたり、水をかけたり、引っ張ったり、無理な力を加えないでください。

## リアカメラ中継ケーブルの引き回し例

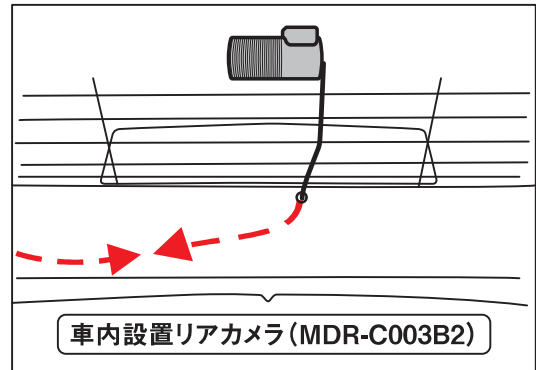
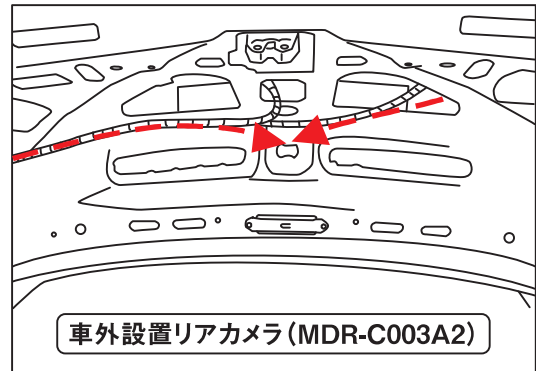
1. リアカメラ中継ケーブルの4PINカプラーをデジタルルームミラー本体コードに接続します。



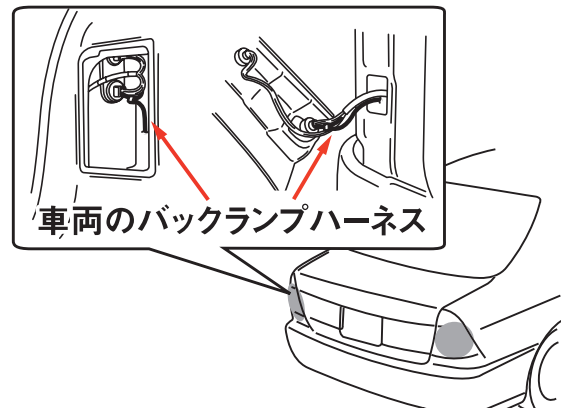
2. 雨水などが浸入しないよう、下図のようにリアカメラ中継ケーブルを配線してください。



3. リアカメラ中継ケーブルのカプラーとリアカメラのカプラーを接続します。



4. リバース連動線を車両のバックランプハーネス等(シフトレバーを「R」の位置にしたときに電圧が変化するハーネス)に接続してください。



### ⚠ 注意

- 取り付けや配線の作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。
- リバース連動線の接続先は、停車中にシフトレバーを「R」にした時に6V以上の検知電圧値になることをテスターで確認してください。
- 端子を確実に差し込んで下さい。
- 着脱時にはケーブルを引っ張らないでください。
- ケーブルは、改造による延長はしないでください。画面にノイズが出たり故障の原因となります。
- ケーブルは、高温に上昇する車両の装置に接触しないようにしてください。

## 取付完了後の確認

### ■車両部品の復元

取り外した車両部品を元通りに復元します。

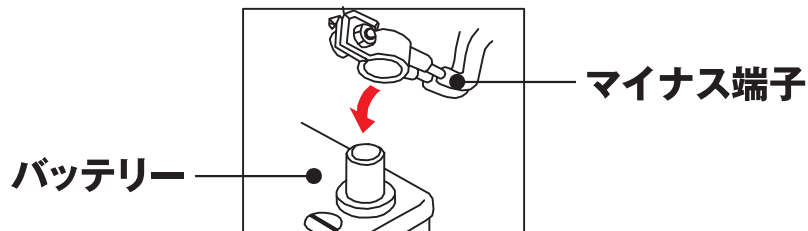


### 注意

車両内装トリムを復元した際、コードにかみ込みが無い事を確認してください。

### ■作業の後に

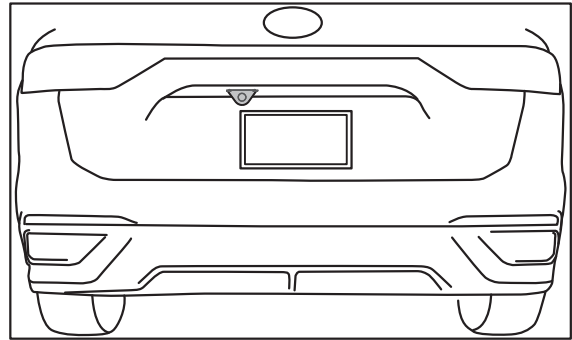
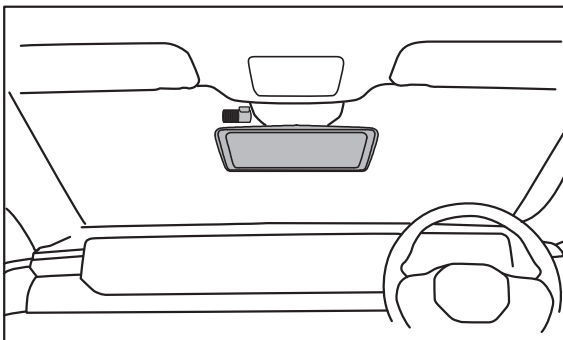
1. 取り付けた機器や、配線が正しくされているか確認します。
2. デジタルルームミラー本体、フロントカメラ、リアカメラがしっかり固定されているか確認します。
3. バッテリーのマイナス端子を接続します。



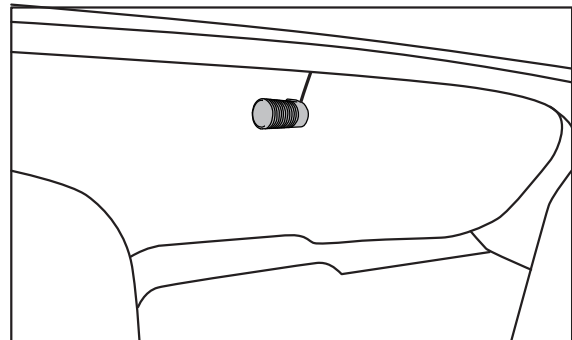
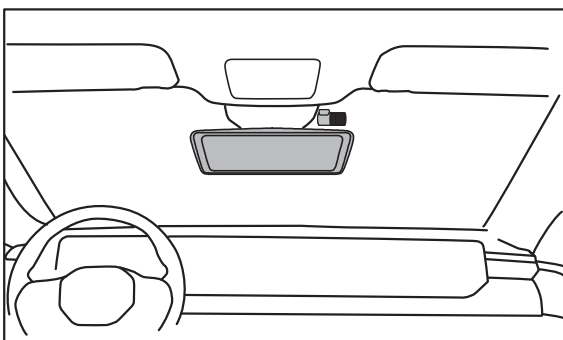
4. 車のエンジンをかけ、デジタルルームミラー、フロントカメラ、リアカメラが正常に動くことを確認します。

### ■取付完成図

#### リアカメラを車外に取り付けする場合 (MDR-C003A2)



#### リアカメラを車内リアガラスに取り付けする場合 (MDR-C003B2)



# 電源のON/OFF

## ■電源オン

車両のイグニッションキーを「ACC」または「ON」にすると、本機の電源がオンになり常時録画が始まります。

※システムが完全に起動するまで数秒かかります。



microSDカードを挿入しないで電源を入れると録画は開始しません。  
フロントカメラ、リアカメラを接続しないで電源を入れると録画が開始しません。

## ●初期設定について

はじめて本機の電源を入れたときは、初期設定画面が表示され、言語やタイムゾーン(日本: UTC+9)、フリッカレス(50Hz、60Hz)※、速度単位(km/h、mph)などの設定を行うことができます。画面に従って、各項目を設定してください。

※フリッカレス設定: 蛍光灯下でのモニターのチラツキを抑えるための設定です。撮影する地域の電源周波数に応じて、「50Hz」(東日本)、「60Hz」(西日本)のいずれかを選択ください。



## ■電源オフ

車両のイグニッションキーを「OFF」にすると、本機の電源がOFFになります。

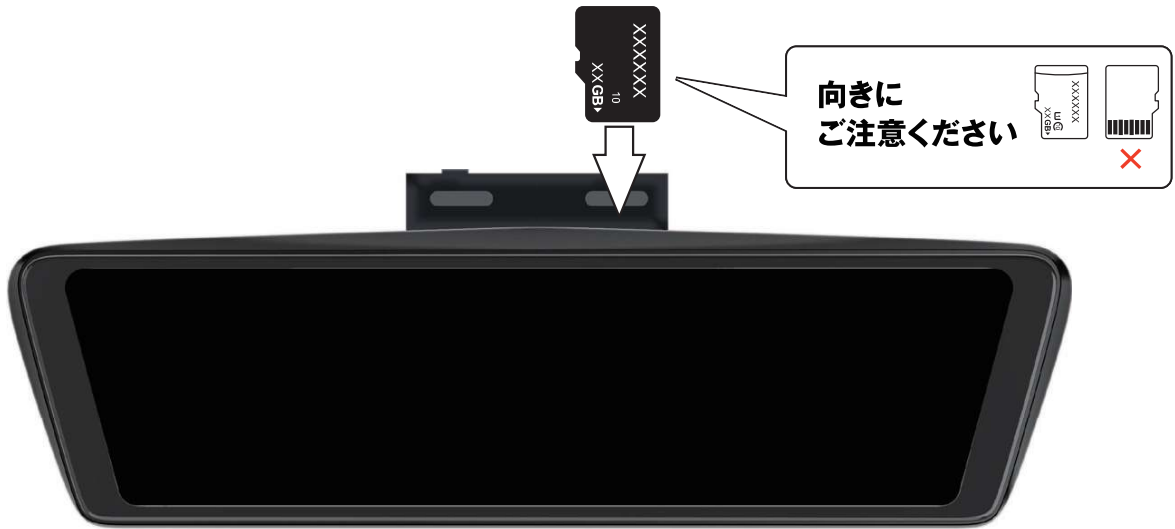
※録画中に電源が切れた場合でも、その時点までに撮影された動画は保存されます。




## microSDカードの挿入・取り外し

### ■microSDカードを挿入する

microSDスロットのカバーを開けてから、microSDカードの印字面が手前(ディスプレイ側)になるよう、microSDカードスロットに「カチッ」と音がするまでゆっくりと差し込んでください。※1

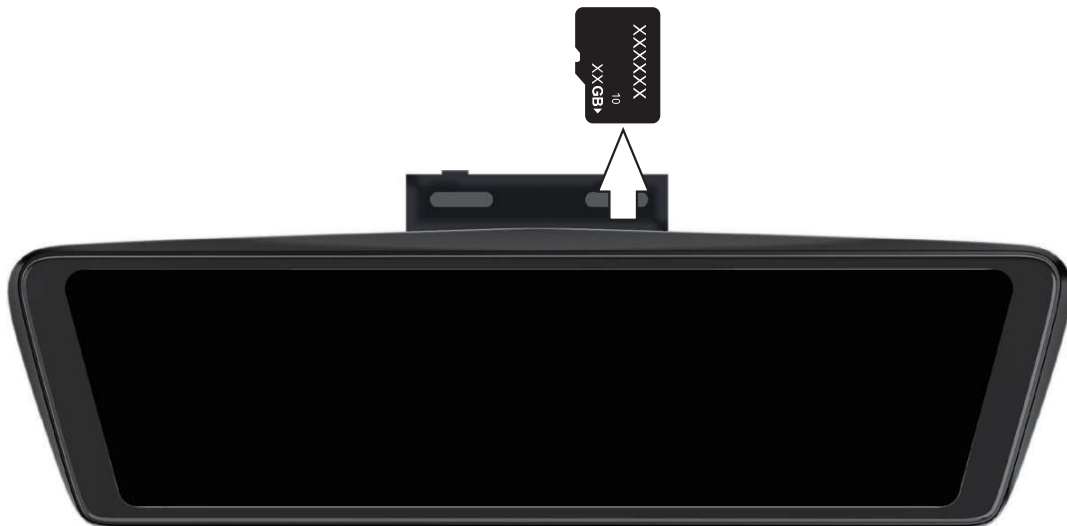


 microSDカードは必ず本機でフォーマットしてから使用してください。  
→P.35 ■microSDカードを初期化する をご参照ください。

### ■microSDカードを取り出す

microSDスロットのカバーを開けてから、microSDカードを押してカードが少し飛び出たら引き抜きます。

microSDカードは勢いよく飛び出す場合があるので、中央部をゆっくりと押して離し、まっすぐ取り出してください。※2 ※3 ※4



※1: microSDカードはClass10以上(FAT32フォーマット)128GBまでのものをご利用ください。

※2: 取り外したmicroSDカードは、専用ケースに入れるなどして、保管してください。

また、誤ってお子様や飲み込むなどのことがないように、保管場所にもご配慮ください。

※3: microSDカードの端子部分には触れないでください。接触不良の原因になります。

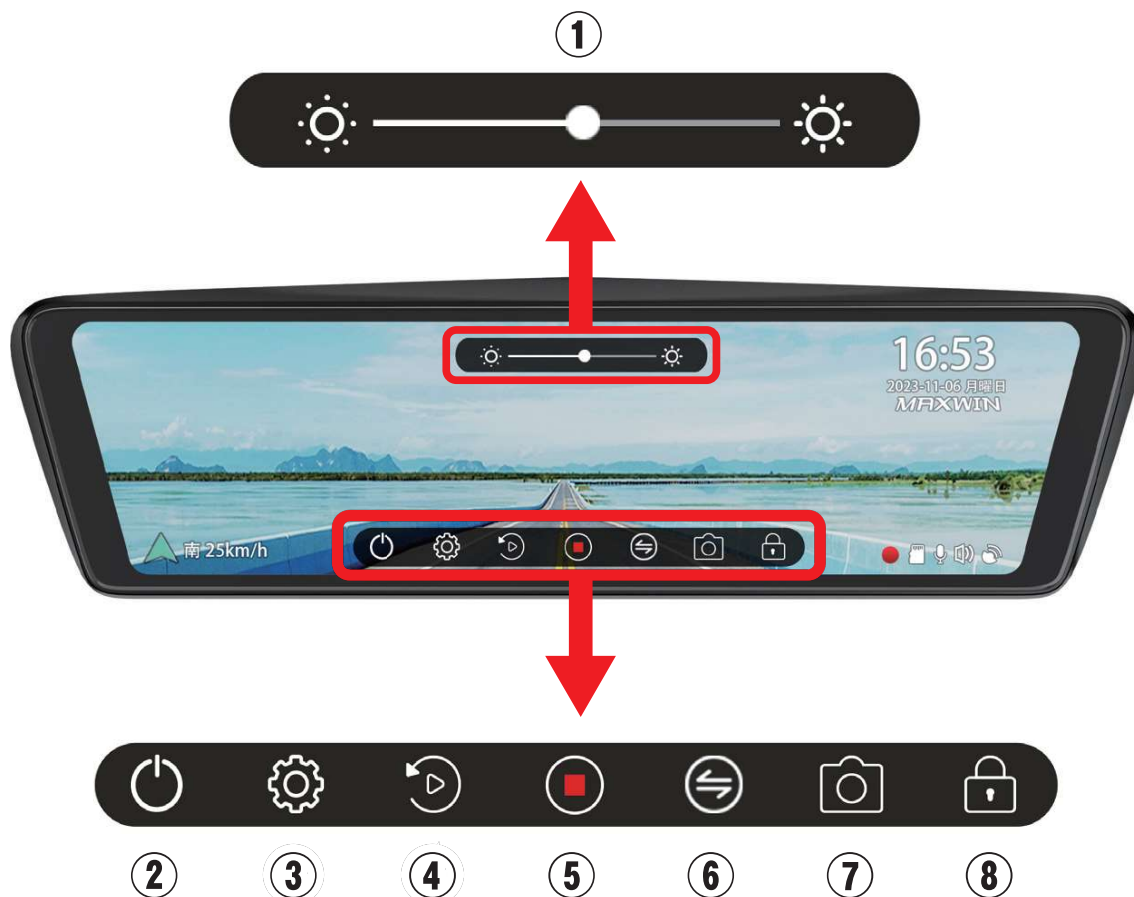
※4: microSDカードは接触不良が起こりやすいため、認識されない場合は差し直してください。



# ディスプレイ表示

## ■操作メニューアイコン

本機起動時や表示カメラを切り替える時、操作メニューアイコンが表示されます。  
また、カメラ映像表示画面をタッチして、操作メニューアイコンを表示させます。  
※約5秒経過すると表示は消えます。



番号	名称	説明
①	明るさレベル調整ボタン	輝度スライダーを左右にスライドすると、液晶画面の明るさを調整できます。
②	電源ボタン	モニターの電源をOFFにできます。
③	設定ボタン	設定画面に移動します。
④	再生ボタン	再生画面に移動します。
⑤	手動録画ボタン	(手動)録画を開始・停止します。
⑥	カメラ切替ボタン	フロント/リアカメラ映像に切り替えます。
⑦	静止画撮影ボタン	表示中の画面を静止画として保存します。
⑧	映像保護ボタン	録画中の録画ファイルを保護します。

# ディスプレイ表示

## ■カメラ映像表示画面

操作メニューアイコンを表示している間に、5秒間操作を行わなければ、「カメラ映像表示画面」に戻ります。



番号	名称	説明
①	日付と時刻	日付と時刻を表示します。
②	進行方向	進行方向を表示します。(GPS受信時に表示します)
③	走行速度	走行速度を表示します。(GPS受信時に表示します)
④	録画状態アイコン	常時録画中:赤色が点滅します。緊急録画中:黄色が点滅します。
⑤	SDカードアイコン	microSDカード未挿入時・異常時は「\」が表示します。
⑥	音声録音アイコン	録音がオフに設定されている場合は「\」が表示します。
⑦	操作音アイコン	操作音がオフに設定されている場合は「x」が表示します。
⑧	GPSアイコン	GPS衛星の電波未受信状態はアイコンを赤色で表示します。

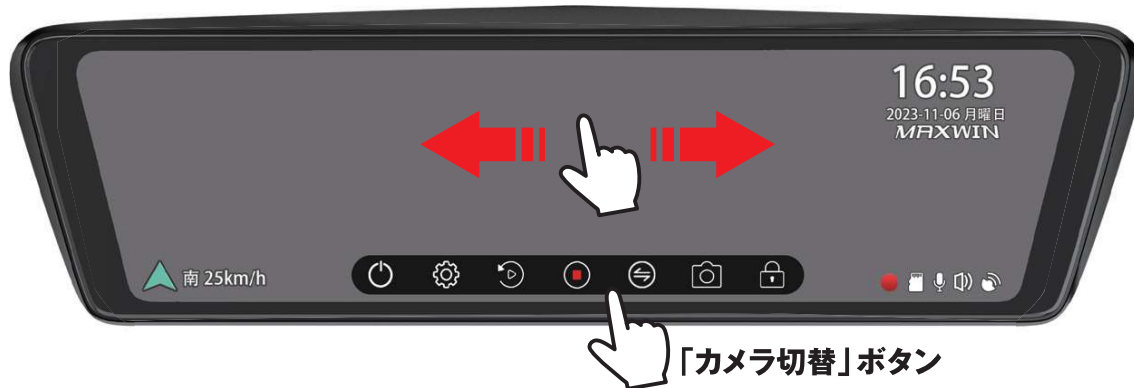


# ディスプレイ表示

## ■表示カメラ切替

カメラ映像表示画面をタップし、画面下の「カメラ切替」ボタンをタップすることで切替ができます。

また、画面を左または右にスワイプすることで切替ができます。



リアカメラ映像表示からカメラを切替る度に、「リアカメラ映像表示」→「フロントカメラ映像表示」→「フロント/リアカメラ2画面映像表示」→「リアカメラ映像表示」と順に切替ります。

リアカメラ  
映像表示



フロント/  
リアカメラ  
2画面映像表示



フロントカメラ  
映像表示



## ディスプレイ表示

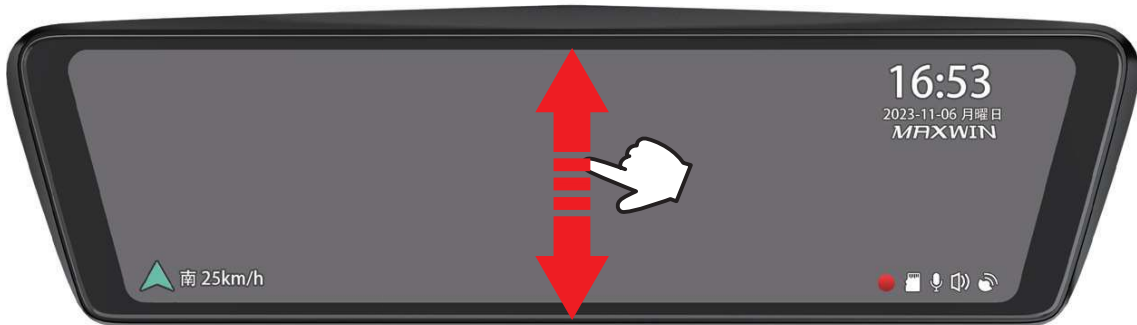
### ■カメラ映像の表示エリア調整:上下

フロント/リアカメラ映像表示画面の中央上付近を上下にフリック操作すると、カメラ映像の表示エリアを調整できます。

※フロント/リアカメラ映像の表示エリアを上下方向に調整します。

※リアカメラ表示エリアの拡大縮小により上下の調整範囲が限られます。ご注意ください。

※フロントカメラとリアカメラの両方のカメラ表示中はエリア調整できません。



上下:



上方向の調整



下方向の調整

# ディスプレイ表示

## ■カメラ映像の表示エリア調整:拡大縮小(リアカメラのみ)

リアカメラ映像表示画面の右側付近を上下にフリック操作すると、リアカメラ映像の表示エリアを調整できます。

※リアカメラ表示エリアを拡大縮小します。



拡大縮小:



縮小の調整



拡大の調整

## ディスプレイ表示

### ■カメラ映像表示画面のON/OFF

操作メニューアイコンの「電源」ボタンをタップすると、「画面OFF」に切り替わります。更に画面をタップすると元の画面に戻ります。

※液晶画面が消えても録画等の動作は行っています。



電源ボタンをタップする



カメラ映像表示画面OFF



## ディスプレイ表示

### ■スクリーンセーバー画面

スクリーンセーバーを「する」または「時刻・GPS情報の表示」に設定した場合、何も操作しない状態が20秒間続くと、自動的にスクリーンセーバー画面に切り替わります。

スクリーンセーバー画面をタップするとカメラ映像表示画面に切り替わります。



何も操作しない状態で約20秒間経過する



スクリーンセーバー画面 (する:画面OFF)

または



スクリーンセーバー画面 (時刻・GPS情報の表示)

## ディスプレイ表示

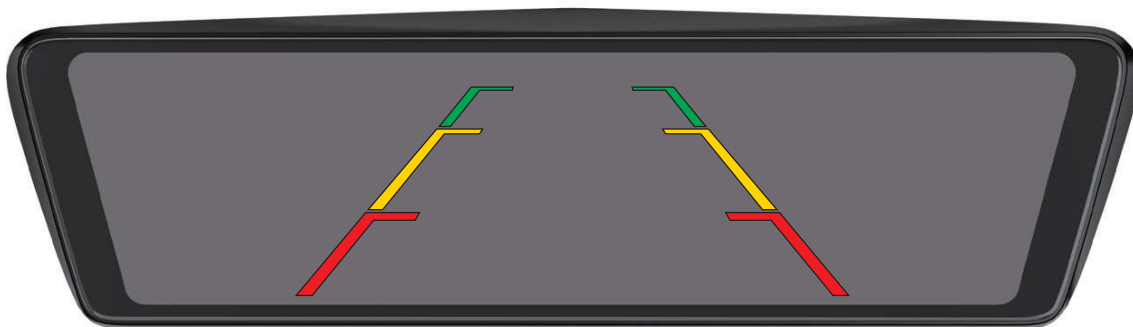
### ■ 駐車アシスト画面

シフトレバーをリバース (R) に切り替えると、リアカメラ映像をバックに適した「駐車アシスト画面」の表示になります。

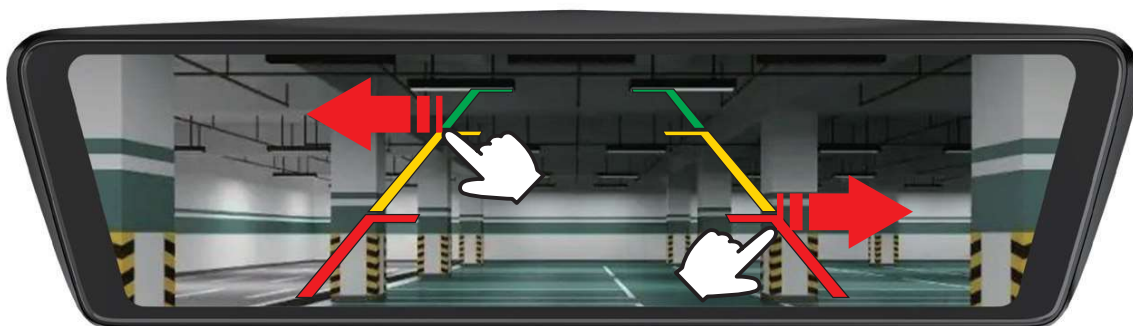
※本機のリバース連動線をシフトレバーをリバース (R) に入れたときに点灯するバックランプ (後退灯) のプラス線などに接続してください。

※車種によっては、バックギア連動に関して特別の配線が必要になることがあります。

詳しくは取り付けを依頼する専門業者様にご相談ください。

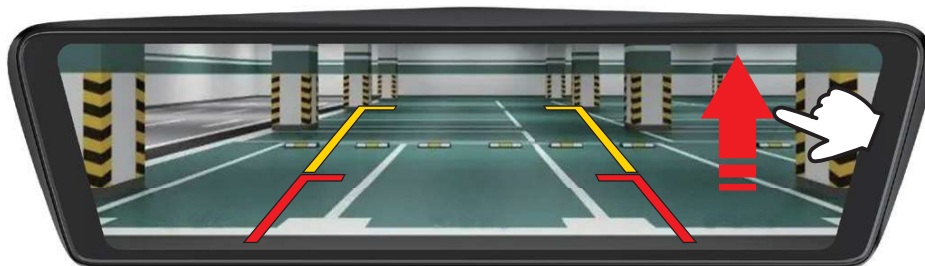


駐車アシスト線で左右スライドすると、駐車アシスト線の形状を調整できます。

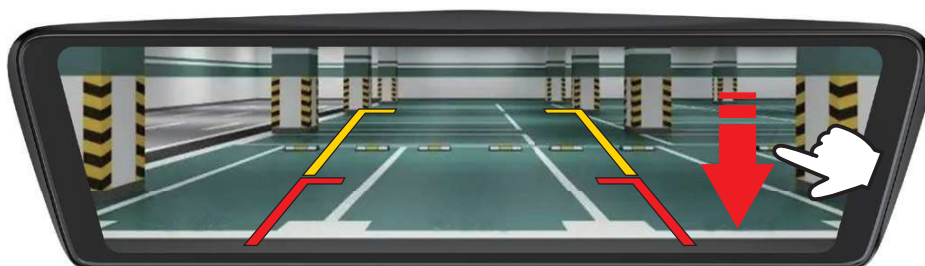


駐車アシスト線以外のエリアを上下にフリック操作すると、リアカメラ映像の表示エリアを調整できます。※

※駐車アシスト画面 (リアカメラ映像) の表示エリアを上下方向に調整します。



上方向の調整



下方向の調整

## 録画モード

本機には、「常時録画モード」、「緊急録画モード(Gセンサー記録/手動記録)」、「駐車監視モード(Gセンサー記録/タイムラプス)」の3つの録画モードがあります。

### ■常時録画モード

本機の電源が入ってから切れるまでの映像を1分/3分/5分ごとに記録します。

常時録画中に「録画」ボタンをタップすると録画を停止し、録画待機モードになります。

再度「録画」ボタンをタップすると常時録画を再開します。

録画は常時録画域(movieフォルダ)に記録します。

常時録画域(movieフォルダ)がいっぱいになると、古いデータから順に消去し、新しいデータを録画(上書き)します。



### ■緊急録画モード(Gセンサー記録/手動記録)

緊急録画モードは、録画を専用フォルダに記録する録画モードです。

上書きが繰り返される常時録画域(movieフォルダ)と別に記録することで、映像が上書きにより消去されるリスクを抑制します。

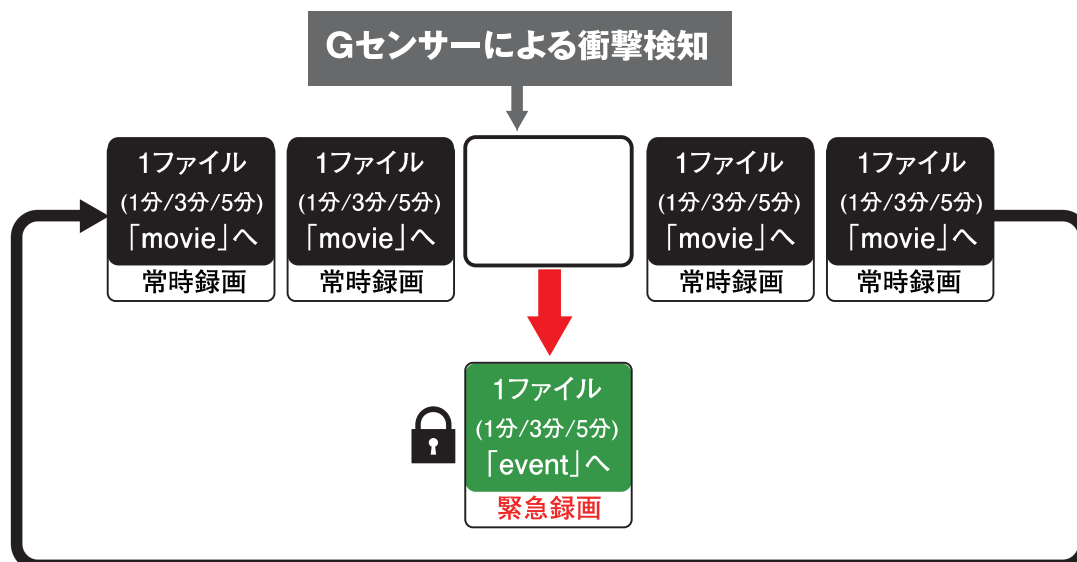
緊急録画域(eventフォルダ)がいっぱいになると、古いデータから順に消去し、新しいデータを録画(上書き)します。

録画を保護する条件(Gセンサー記録/手動)によって、データの保存方法が異なります。

### ●Gセンサー記録

車両に衝撃が加わると、録画を自動的に緊急録画域(eventフォルダ)に記録します。

車両や運転の状況に合わせてGセンサーの感度を3段階で設定できます。

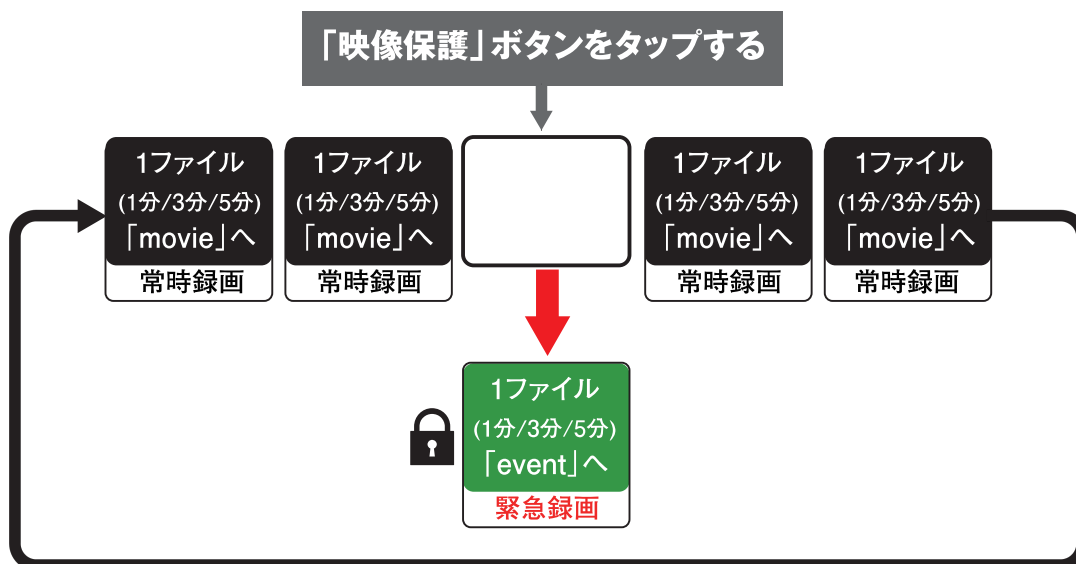


# 録画モード

## ●手動記録

常時録画中に「映像保護」ボタンをタップすると、録画を緊急録画域 (evntフォルダ) に記録します。

軽い衝突事故でGセンサーが作動しなかったり、あおり運転されたシーンなど衝撃が無い場合でも手動記録をしておくと、再生時に録画したデータを探しやすくなります。



## ■駐車監視モード(Gセンサー記録/タイムラプス)

車両キースイッチをOFFにすると、駐車監視モードに自動で切り替わります。

駐車監視モードに切り替わると液晶画面は消えます。

※駐車時のバッテリー電圧が11.8V(23.7V)以下の場合、駐車監視モードは動作しません。

バッテリーが劣化している可能性があります。バッテリーチェックを行ってください。

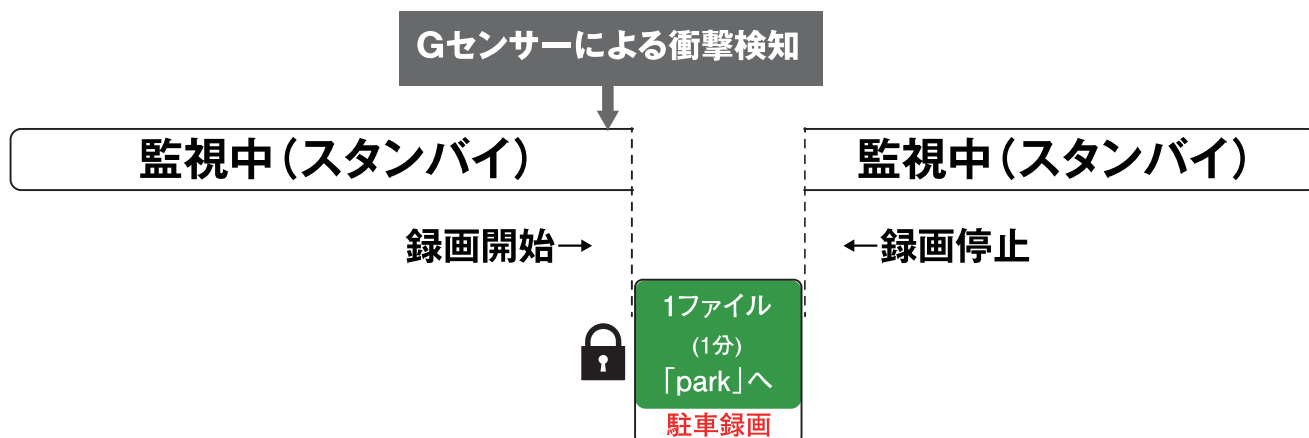
## ●駐車監視モード：Gセンサー記録

監視中に車両への衝撃を検知すると自動で録画を開始します。

録画したデータ(検知後1分)は駐車録画域 (parkフォルダ) に保存されます。

駐車録画域 (parkフォルダ) にがいっぱいになると、古いデータから順に消去し、新しいデータを録画(上書き)します。

録画が終了すると、再び監視を開始します。





## 録画モード

### ●駐車監視モード：タイムラプス

タイムラプスは設定した時間間隔ごとに写真撮影を行ったり、それらの写真をつなげて動画のようにする録画方式です。

1秒間のフレーム数(撮影枚数)を少なくして映像を記録する機能で、通常の常時録画より使用するメモリー容量を抑えることができます。

タイムラプス録画を常時録画域(movieフォルダ)に記録します。

タイムラプス録画設定時間が経過すると本機の電源が切れます。

※バッテリー電圧がの「駐車監視録画停止電圧」の設定値より下がったとき、タイムラプス録画設定時間内であっても自動的に電源がOFFになります。

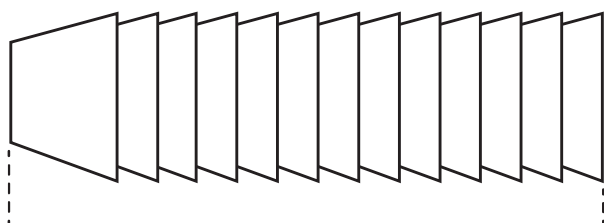
※タイムラプスに設定すると音声録音設定に関わらず、録音はされません。

※タイムラプスはコマ録り画像のため、映像を再生する時は、実際の撮影時間より短い時間で再生します。

※タイムラプスに設定するとコマ送り撮影を行うため、LED(信号機含む)の映像が記録されない場合があります。

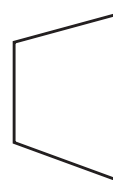
※「駐車監視モード：タイムラプス」がONの状態、「駐車監視モード：Gセンサー記録」を低/中/高のいずれかを設定した場合、タイムラプス録画中に衝撃があると自動で録画中のファイルをロック(SOSファイル)します。

常時録画



1秒間に27.5枚撮影  
(27.5fps)

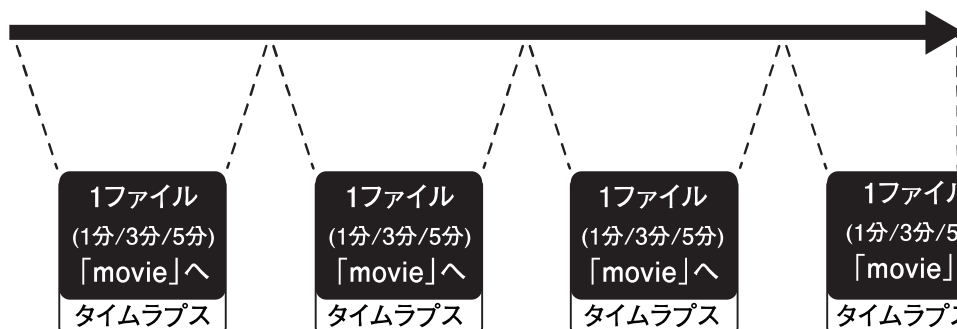
タイムラプス録画



1秒間に1枚撮影  
(1fps)



タイムラプス録画設定時間



# 各種設定

## ■設定手順

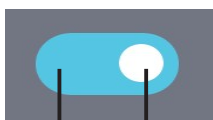
- 1.カメラ映像表示画面をタップして、「操作メニューアイコン」を表示させます。
- 2.「設定」ボタンをタップします。



- 3.設定画面が表示されます。  
設定画面上を上下にスライドさせて、設定したい項目を表示させます。



- 4.設定したい項目をタップし、各設定を行います。
  - 設定項目に選択欄が表示されている項目はここで、タップして選択できます。
  - 設定項目に“>”が表示されている項目は画面をタップすると選択画面が表示されます。  
設定が確定され設定画面に戻ります。  
また、画面左上の“<”をタップすると設定画面に戻ります。



ここをタップするとオン  
(緑色で表示)

ここをタップするとオフ  
(灰色で表示)



ここをタップすると、緑色になり  
設定が確定されます。



ここをスワイプすると、  
背景が白色になり設定が  
確定されます。

- 5.設定画面の「戻る」ボタンをタップして終了します。  
画面左上の“<”アイコンをタップするとカメラ映像表示画面に戻り録画を開始します。



## 各種設定

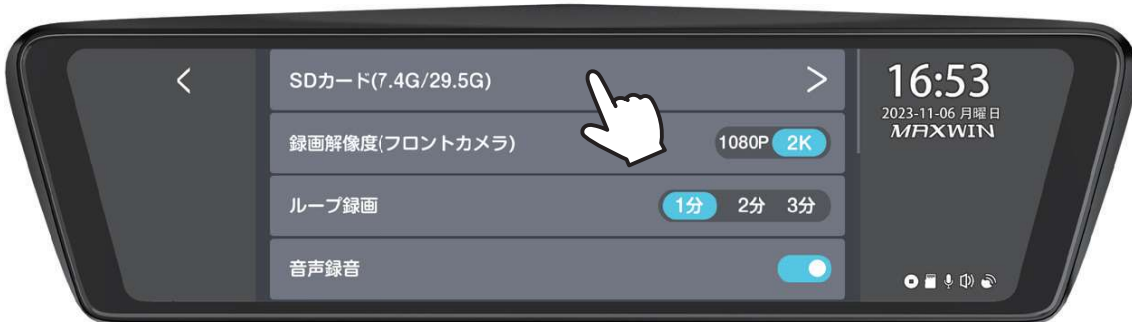
### ■microSDカードを初期化する

microSDカード内の映像をすべて削除します。保存しておきたい映像がある場合は、PCに保存してから本操作を行ってください。

- 1.カメラ映像表示画面をタップして、「操作メニューアイコンを表示」を表示させます。
- 2.「設定」ボタンをタップします。



- 3.設定画面が表示されます。「microSDカード」→「フォーマット」をタップします。



- 4.確認メッセージが表示されますので、実行する場合は、「フォーマット」をタップします。



# 各種設定

## ■各種設定方法

### 録画解像度(フロントカメラ)

フロントカメラの録画する画像の解像度を設定します。

解像度を上げると録画時間が短くなり、下げると長くなります。

設定内容：1080P/1440P(初期設定値)※  
※200万画素CMOSセンサーによる記録です。

### ループ録画

一つの録画ファイルの時間を設定します。microSDカードの容量がいっぱいになると、古いファイルから消されて新しいファイルが保存されます。

設定内容：1分(初期設定値)/2分/3分

### 音声録音

映像とともに音声や車の中の音を同時に記録するかどうか選択できます。

設定内容：OFF/ON(初期設定値)

### Gセンサー感度(常時)

Gセンサーによるロックファイル機能は、事故や衝突など一定以上の衝撃が加わると録画中のファイルが保護される機能です。

Gセンサーの感度は3段階調整できます。感度が高いほど、より小さい衝撃を検知します。

設定内容：OFF/低/中(初期設定値)/高

### 駐車監視モード

駐車監視モードのオン/オフを設定します。

※設定内容：OFF(初期設定値)/ON

※設定をONにすると、設定メニュー内に下記の項目が追加されます。

「駐車監視モード:Gセンサー記録」

「駐車監視モード:タイムラプス」

「駐車監視録画時間(タイムラプス)」

### 駐車監視モード:Gセンサー記録

車への衝撃を検知することで撮影を開始する録画方式です。駐車監視モード時の車両への衝撃を検知する感度(3段階)を設定すると、駐車時の監視として使用できます。

設定内容：OFF(初期設定値)/低/中/高

### 駐車監視モード:タイムラプス

一定間隔で撮影した静止画をつなげ、動画として記録する録画方式です。

撮影間隔を設定すると、駐車時の監視として使用できます。

設定内容：OFF/2FPS/1FPS(初期設定値)/0.2FPS

### 駐車監視録画時間(タイムラプス)

駐車監視時間(タイムラプス)を設定します。  
設定内容：常時オン/12時間(初期設定値)/24時間/72時間

### 駐車監視録画停止電圧

監視モード中にバッテリーの電圧が設定値より下がったとき、本機をシャットダウンします。バッテリーの定格電圧によって2種類の設定ができます。※

※入力電圧が表示されます。必ずバッテリーの定格電圧に応じて設定してください。

設定内容：

- 録画停止電圧(12V車):  
11.8V(初期設定値)/12.0V/12.4V
- 録画停止電圧(24V車):  
23.8V(初期設定値)/24.0V/24.4V

### 言語設定

メニューや警告などの表示言語を選択できます。

### 日時設定

映像に記録する日時の設定をします。

# 各種設定

## GPS自動時刻設定

日時情報をGPSにより自動で補正させます。  
設定内容：OFF/ON(初期設定値)

## 手動で設定

「GPS自動時刻設定」をOFFにし、日付と時刻を手動で設定できます。

## 24時間表示

12時間表示(OFF) /24時間表示(ON)を設定します。  
設定内容：OFF/ON(初期設定値)

## タイムゾーン

グリニッジ標準時。日本はGMT+09:00を選択してください。

## サマータイム

日本では、サマータイムは「OFF」にします。  
設定内容：OFF(初期設定値)/ON

## スクリーンセーバー

一定時間経過すると映像表示を消します。  
設定内容：する/しない(初期設定値)/時刻・GPS情報の表示

## 明るさレベル

画面の明るさを調整します。  
設定内容：低/中/高(初期設定値)

## 操作音

操作時に音が鳴る/鳴らないを設定します。  
設定内容：OFF/低(初期設定値)/中/高

## GPS情報

弊社検査用。使用しません。

## 速度単位

キロメートル毎時とマイル毎時を選択します。  
設定内容：km/h(初期設定値)/mph

## 起動時画面設定

起動時の画面表示を設定します。  
設定内容：フロントカメラ/リアカメラ(初期設定値)/2画面

## リアカメラ:上下反転

カメラ映像の上下反転表示を切り替えます。  
設定内容：OFF(初期設定値)/ON

## リアカメラ:左右反転

カメラ映像の左右反転表示を切り替えます。  
設定内容：OFF/ON(初期設定値)

## フロントカメラ:上下反転

カメラ映像の上下反転表示を切り替えます。  
設定内容：OFF(初期設定値)/ON

## フロントカメラ:左右反転

カメラ映像の左右反転表示を切り替えます。  
設定内容：OFF(初期設定値)/ON

## 駐車アシスト線表示

駐車アシスト画面でバックガイド線の表示/非表示を切り替えます。  
設定内容：OFF/ON(初期設定値)

## 全設定初期化

設定を工場出荷状態に戻します。  
出荷状態に戻すときにはメニュー選択後「OK」を選択してください。

## 本体情報

ソフトウェアのバージョンNO.を表示します。



# 再生する

## ■本機で再生する

本機でドライブレコーダーの映像を確認できます。

## ●再生方法

- 1.カメラ映像表示画面をタップして、「操作メニューアイコン」を表示させます。
- 2.「再生」ボタンをタップします。



- 3.再生画面が表示されます。



- 4.録画方法を選択します。

- (1)録画方法選択し、ボタンをタップします。



- (2) 録画方法を選択すると、その録画(静止画)のファイルリストが表示されます。

- (3) フロントカメラ/リアカメラの切り替えボタンをタップしてカメラを選択します。

- (4) ファイルリストの画面上をスライドして、ファイル名をタップすると再生を開始します。

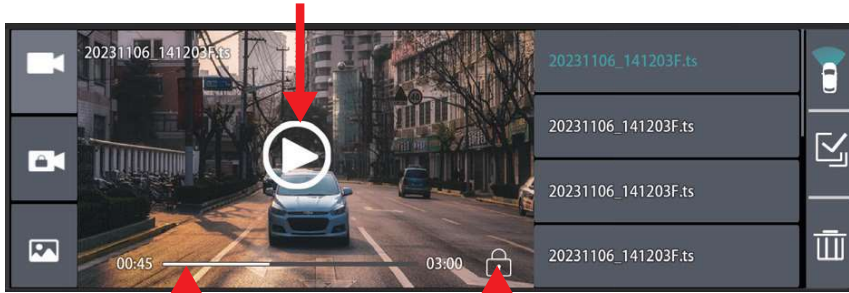
- (5) 終了:画面左上の「<」ボタンをタップするとカメラ映像表示画面に戻り録画を開始します。



# 再生する

## ●再生中画面

再生中画面の中央をタップすることで、映像再生を一時停止または再開ができます。



時間スライダーをドラッグ  
することができます。

### 🔒 「保護」ボタン

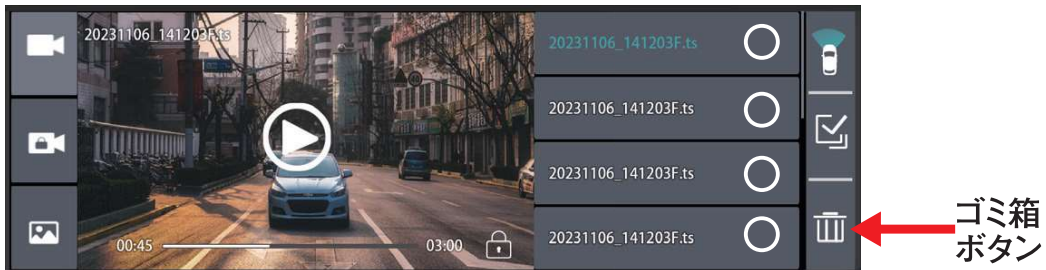
録画ファイルがロックされていない場合、このボタンが表示されます。タップすると表示されている録画ファイルを保護します。

### 🔓 「保護の解除」ボタン

録画ファイルがロックされている場合、このボタンが表示されます。タップすると保護を解除します。

## ●ファイルを消去する

1.「ゴミ箱」ボタンをタップします。

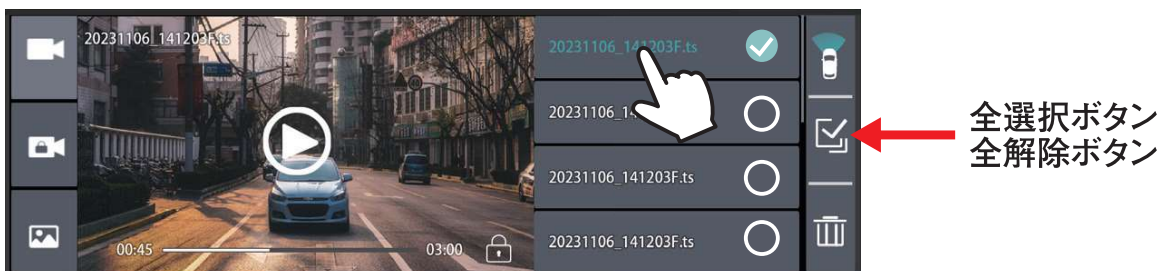


2.ファイルリストの画面上をスライドして、消去したいファイル名をタップして選択します。

※「全選択/全解除」ボタンをタップすると、同じ録画方法の全てのファイルが選択されます。

再度「全選択/全解除」ボタンをタップする、全てのチェックが外れます。

※画面左上の「<」ボタンタップすると終了できます。



3.再度「ゴミ箱」ボタンをタップすると、消去の確認画面が表示されます。

「OK」ボタンをタップすると選択中のファイルを削除します。

# 再生する

## ■パソコンで再生する

microSDカードを本体から抜き取りパソコンに接続してください。

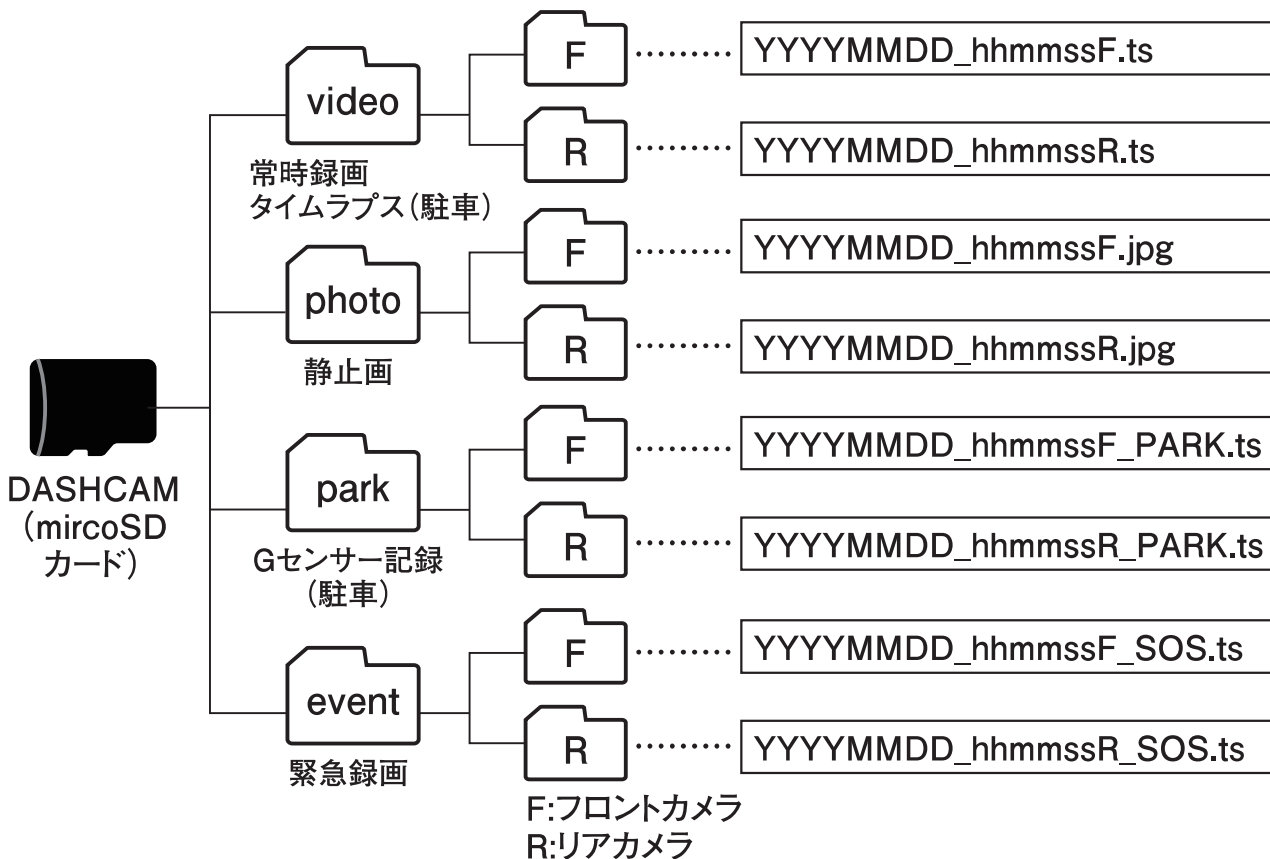
録画ファイルは.ts方式で記録されています。

専用ビューアソフトやパソコンの動画再生ソフトで再生してください。

※音が出ない場合は他の動画再生ソフトを使用するかパソコンや動画ソフトの設定、コーデックなど確認してください。

## ●フォルダ/ファイル構成

録画が記録されているmicroSDカード内のフォルダとファイルの構成は下記のとおりです。



## ●ファイル名称

ファイル名は録画(撮影)した年月日、時分秒、ファイル番号の組み合わせで作成します。

ファイル名称例:

**20230721142052\_000001F\_SOS.TS**

年、月、日

時、分、秒

ファイル番号

SOS : 緊急録画  
PARK : 駐車録画  
(Gセンサー記録)

F: フロントカメラの映像  
R: リアカメラの映像

拡張子

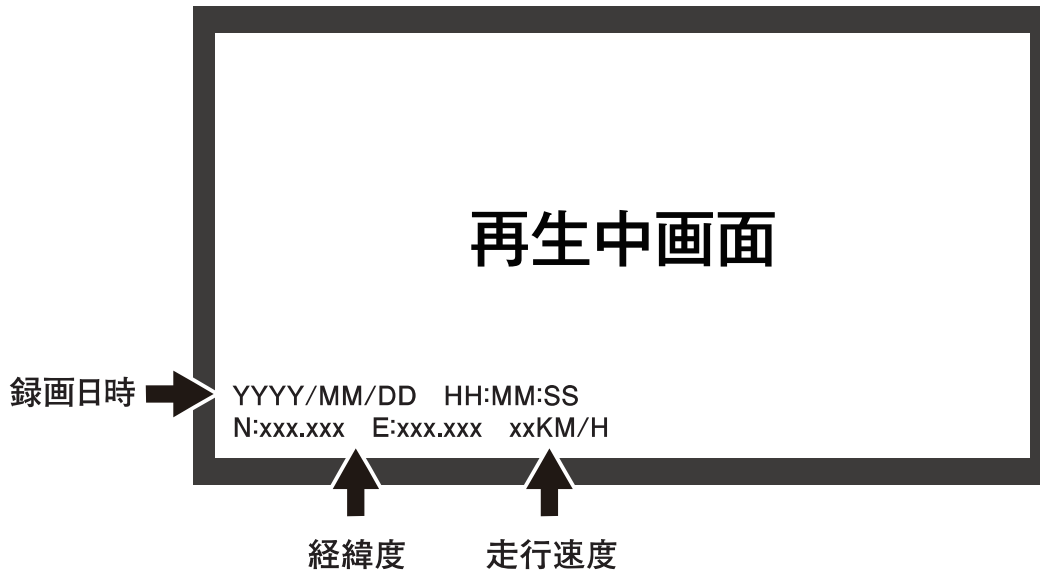
.TS : 動画

.jpg : 静止画

# 再生する

## ●再生中画面

パソコンでの再生画面の左下隅に日時情報やGPS情報が表示されます。



## ●専用ビューアソフト

専用ビューアソフトを利用することで、本機で録画した映像の確認をパソコンでおこなうことができます。

専用ビューアソフトとソフトの説明書（PDF）は、弊社ホームページのソフトウェアページからダウンロードします。

<https://maxwin.jp/datadownload/software/>

※ビューア画面のデザイン等は変更する場合があります。

※ビューアのインストール/操作等はパソコンの基本的な知識が必要となります。

### 【専用ビューアソフトの動作環境】

- ・ Windows 8.1/10 (32/64bit) がインストールされたパソコン。
- ・ Windows Media Player 等のH.264動画再生ソフトがインストールされていること。  
(再生ソフトに関するお問い合わせはお受けできません)
- ・ USB2.0 インターフェースもしくはmicroSD/SDHC カードリーダーを備えていること。
- ・ それぞれの OS の推奨環境以上で動画再生でも十分な能力を持っていること。

### 【専用ビューアソフトの準備】

1. 本機専用ビューアソフトをダウンロードして、圧縮解凍ソフトでファイルを解凍します。
2. 本機専用ビューアソフトをパソコンにインストールします。
3. フォルダ内の専用ビューアソフトの説明書を参照し、専用ビューアソフトを起動します。
4. 録画ファイルを選択して再生します。

## 製品仕様

モニター	9.88インチIPS液晶(1600×400pixels)
使用温度範囲	-20℃～60℃
録画解像度	フロントカメラ:1440P/1080P、リアカメラ:1080P
フレームレート	フロントカメラ27.5fps、リアカメラ25fps
画角	フロントカメラ 水平:102° リアカメラ(車外設置タイプ) 水平:111° リアカメラ(車内設置タイプ) 水平:102°
防水仕様	リアカメラIP67(MDR-C003A2付属リアカメラ)
録画モード	ループ録画(1分/3分/5分)
記録方式	常時録画/緊急録画/駐車監視録画
動画ファイル形式	.TS
メモリカード	microSDカード(16～128GB Class10必須)
電源	DC 12V/24V

※仕様はお客様に予告なく変更になる場合があります。

## よくある質問

### ■初期化(リセット)について

本機が正常に動作しない場合やフリーズした場合には初期化を行います。

本体上面のリセットホールのスイッチをクリップの先などで押してください。

リセットをすると、正しく電源が再起動されます。初期化を行っても問題が解決されない場合は、microSDカードを抜いて再度リセットをして確認します。

microSDカードを抜いて正常に動作する場合はmicroSDカードをフォーマットしてください。

### ■故障かな?と思ったら

次の一覧から該当する症状、または表示されるメッセージを見つけて対処してください。

解決方法を見つからない場合は、お買い上げの販売店または当社サービス窓口へご相談ください。

ご質問	回 答
電源が入らない	ヒューズが入っていないか断線しています。 ヒューズを入れるか原因を確かめてからヒューズを交換してください。 お買い上げの販売店にご相談ください。
記録したはずの映像がない	microSDカードの記録可能時間の上限を超えると、古い映像から上書き保存していきます。必要に応じてmicroSDカードのデータをパソコンに保存してください。
LED信号機のライトが確認できない	映像の記録周期とLED信号機の周期によって、一瞬信号機のライトが消えて見えることがあります。 信号機が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。
microSDカードに記録できない	microSDカードに異常がある場合があります。microSDカードのフォーマットを行ってください。 microSDカードは書き込み回数などの寿命があります。フォーマットを行っても異常がある場合は新しいカードに交換してください。
頻繁に衝撃録画を行う	Gセンサー感度が良すぎて衝撃を感知しています。 感度を低く設定してください。(高→低)
時計がずれている	期間を開けて使用する場合は日時表示がリセットされることがあります。 日時を手動で設定し直してください。
画面がフリーズする	●システムエラーが発生した可能性があります。 本体のリセットボタンを先の細いもので押して、システムを再起動させてください。 ●microSDカードの再フォーマットをお試しください。 それでも不具合が見受けられる場合は、別のmicroSDカードの使用をお試しください。 ●安定した動作のために、国内正規品のmicroSDカード(Class10以上)推奨となります。

## ファームウェアについて

ファームウェアの更新で不具合修正や機能改善する場合があります。以下のURLにて最新のファームウェアを公開いたしますので、随時チェックしてください。

# 最新ファームウェアはコチラ



<https://maxwin.jp/datadownload/firmware/>

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、  
お買い求めの販売店またはMAXWINホームページまで  
お問い合わせください。

<https://www.maxwin.jp/>



# 商品保証書

本書は製品購入日から本書に定める保証期間内に故障が発生した場合に本書記載内容で無償修理する事を約束するものです。修理の際に必ず本保証書をご提示の上、ご依頼ください。

## 《無償修理規定》

■取扱説明書の注意事項に従い、かつ正常な使用状態で故障した場合に無償保証いたします。

無償修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に本書を添えてご依頼ください。

■保証期間内でも次のような場合には有料になります。

- ・使用上の誤り及び過失による故障及び損害
- ・分解、改造及び保証シールが破れている場合
- ・火災、地震、風水害、落雷、その他天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電源（電圧・周波数）などによる故障及び損害
- ・購入後の移動、落下あるいは運送などによる故障及び損害
- ・本保証書のご提示がない場合
- ・本保証書に購入年月日、お客様氏名、購入代理店の記入がない場合、あるいは保証期間切れ、字句を書き換えられた場合
- ・消耗品、付属品などの交換による故障及び損害

■本製品は故障などに伴う二次的損害に対する保証はいたしません。

■本書は日本国内のみ有効です。

■本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

※修理ご依頼の場合、データ検索のため、以下の欄にご購入時に記入したお客様データをご記載ください。

〈お客様氏名〉	〈故障内容〉※具体的にお書きください。
様	<b>無効</b>
〈電話番号〉	
〈ご住所〉	
〈販売店〉	〈購入日〉

**MAXWIN**  
昌騰有限会社

商品についてのお問合せは  
購入された販売店または

**support@maxwin.jp**  
へお問い合わせください。





***MAXWIN***